

「豊かな大阪を考える学者の会」報告会

データで振り返る 「大阪ダブル選挙」

平成28年2月24日

藤井聡

第3回 大阪都構想調査概要

- 実施時期：2016年01月08日(金)～2016年01月09日(土)
- 対象者：
 - 大阪市在住のインターネット調査会社の
20歳以上のモニター会員310名(=過去2回の調査回答者)
 - 男女各155名，平均年齢45.28歳 年齢標準偏差14.54歳
- 分析の視点
 1. 誰が維新に投票したか
 2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴
 3. 都構想反対派から維新派に転じた人の特徴

1. 都構想賛成・ 維新支持の人々の特徴

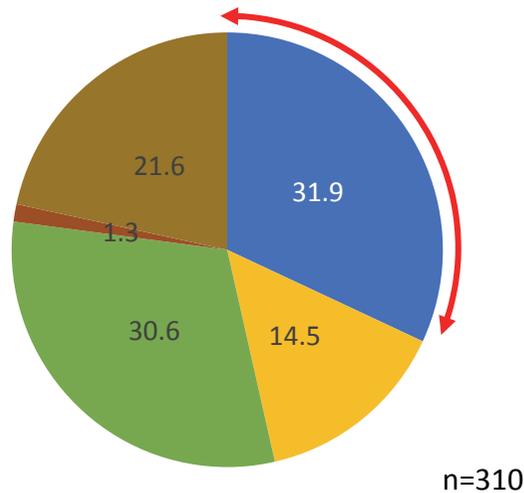
2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

都構想によって大阪府はどうなるか

・「大阪都構想が実現すると、大阪府はどうなると思いますか。」に対する回答結果を比較

正解者は全体では約3割，都構想賛成者，維新支持者は2割弱と低い

全体



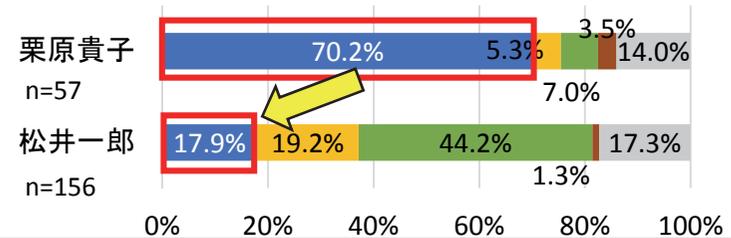
正解 ■ 大阪「府」のまま地位も上がらない

- 東京と同じ「都」になる
- 大阪「府」のままだが、副首都扱いを受ける
- その他
- 分からない

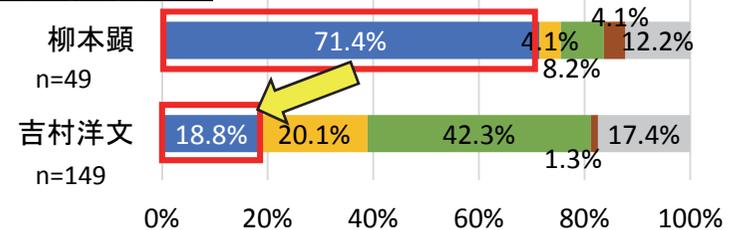
都構想賛否別



府知事選投票先別



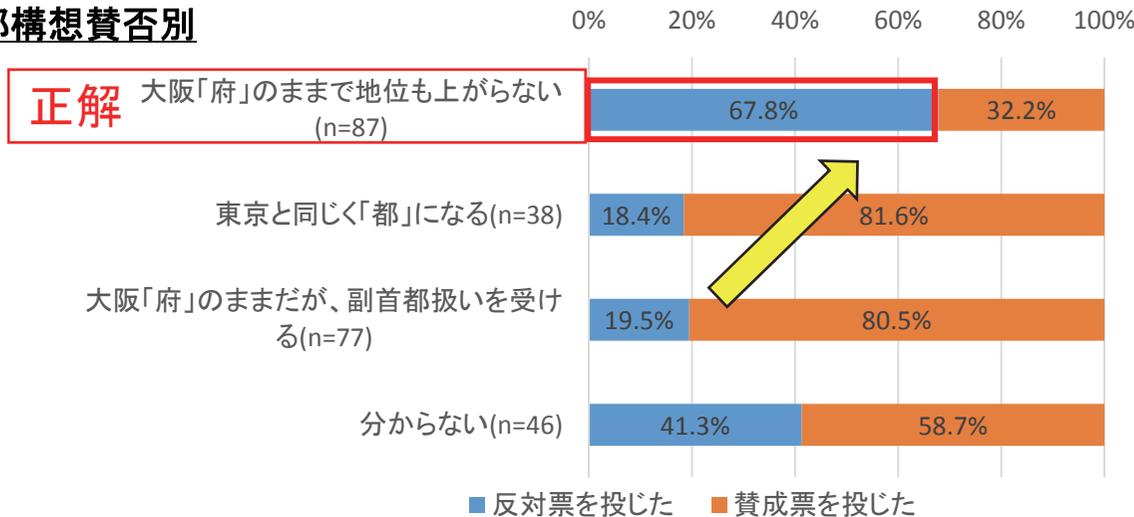
市長選投票先別



2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

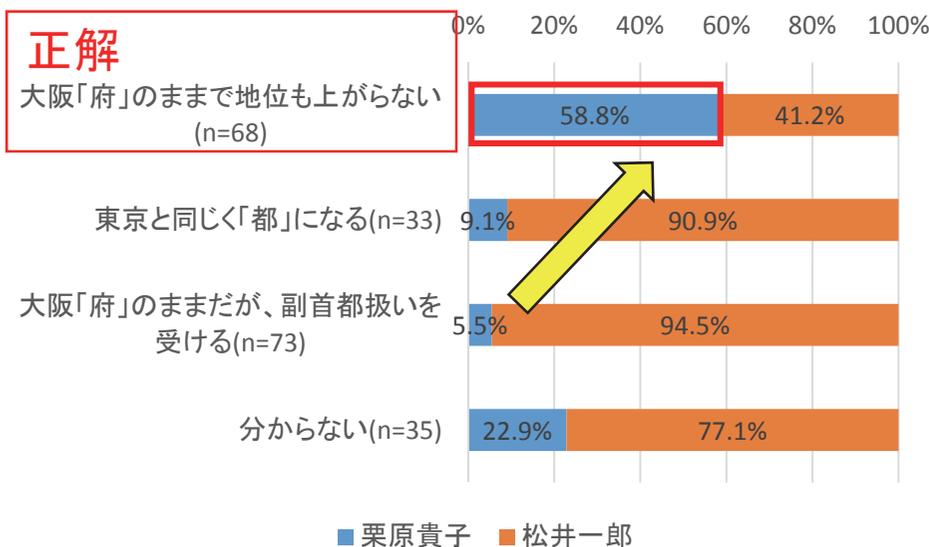
都構想によって大阪府はどうか(逆クロス)

都構想賛否別

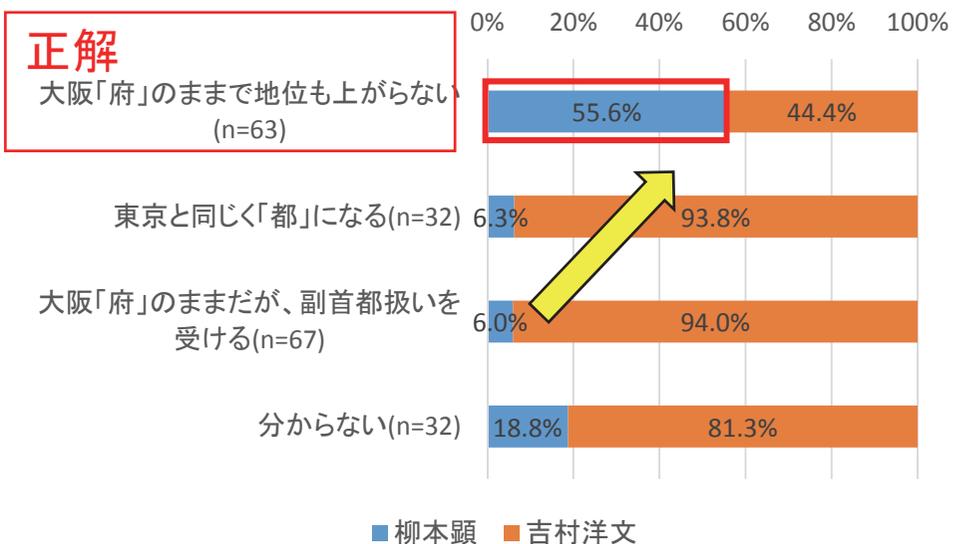


事実を知っている人は
都構想に反対で
維新に投票

府知事選投票先別



市長選投票先別



つまり、都構想の真実(大阪府)を....

「知ってる」と、6割程度が「自民」に投票。

「知らない」と、逆に9割程度が「維新」に投票。

⇒ 都構想の真実の周知レベルが
(都構想のみならず、) 府知事選を支配！

そして、残念ながら「知っている人」は一部(3割)

⇒ 「真実が知られて」さえいれば、
結果は逆だった！

2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

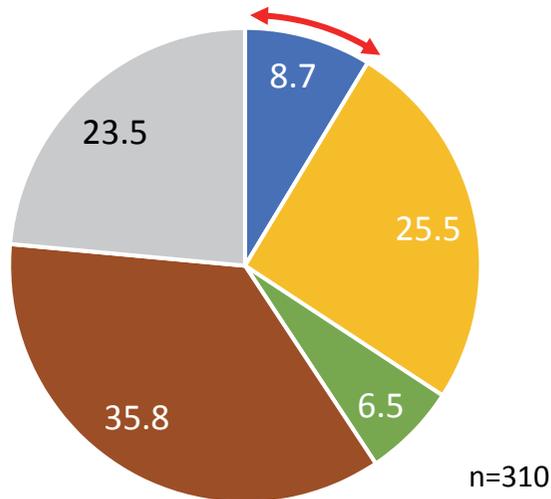
都構想によって大阪市はどうなるか

- 「大阪都構想が実現すると、大阪市はどうなると思いますか。」に対する回答結果を比較

正解者は全体で1割弱（9割が理解していない！）

そして維新支持者では正解率数パーセント、非維新支持者では3割前後

全体



正解 ■ 廃止されて消滅する

- 政令指定都市のまま残る
- 政令指定都市ではなくなるが、今のまま残る
- 廃止されるが、大阪市と同じ力を持つ5つの特別区が設置される
- 分からない

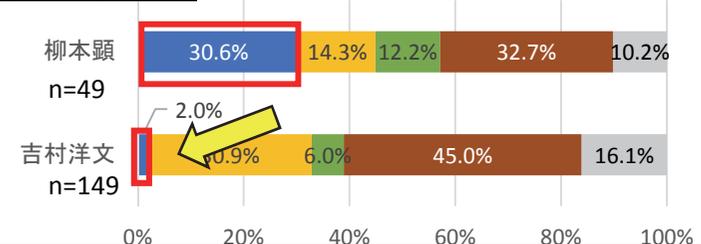
都構想賛否別



府知事選投票先別



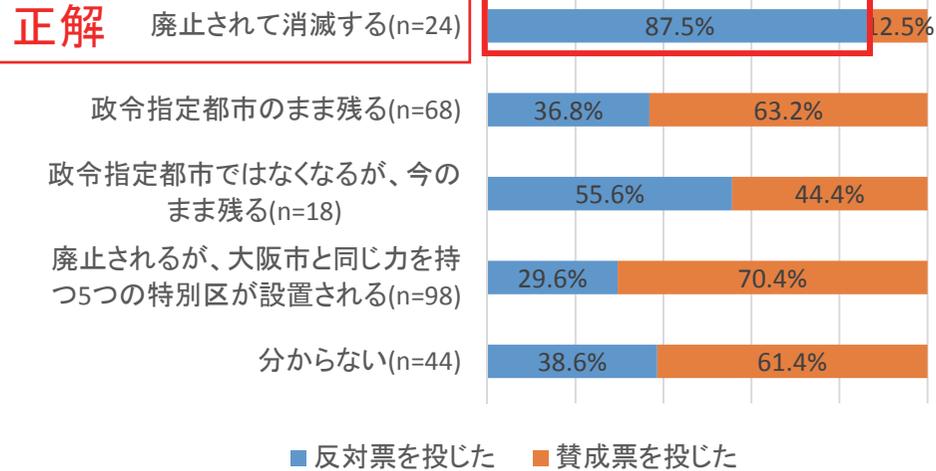
市長選投票先別



2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

都構想によって大阪市はどうか(逆クロス)

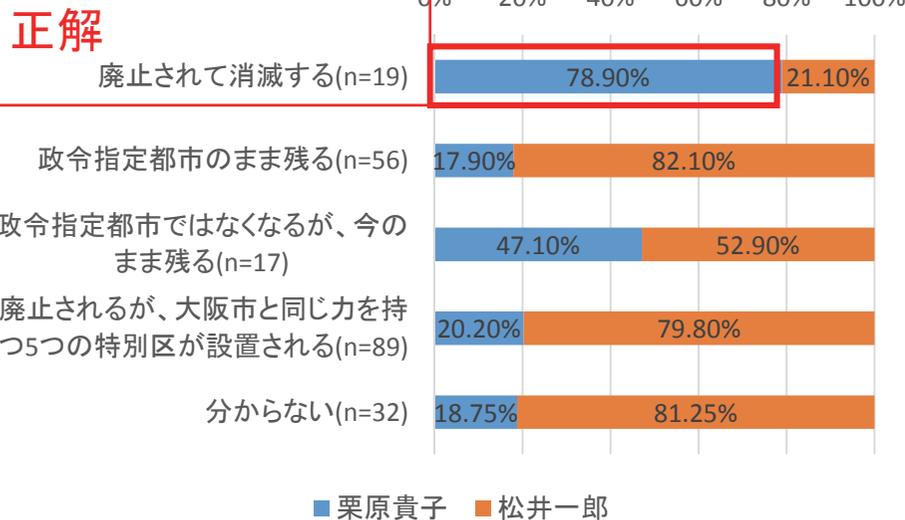
都構想賛否別



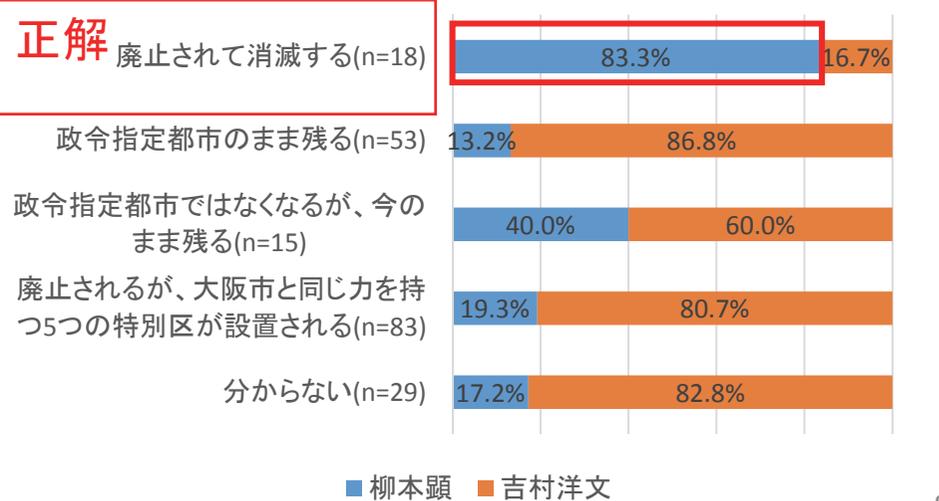
事実を知っている人の
9割が都構想に反対

事実を知っている人の
8割前後が非維新に投票

府知事選投票先別



市長選投票先別



つまり、都構想の真実(大阪市)を....

「知ってる」と、8割前後が「自民」に投票。

「知らない」と、逆に8割前後が「維新」に投票。

⇒ 都構想の真実の周知レベルが
(都構想のみならず) 市長選を支配!

そして、残念ながら「知っている人」はごく一部(1割)

⇒ もう少しだけでも、
真実が知られていれば、結果は逆だった!

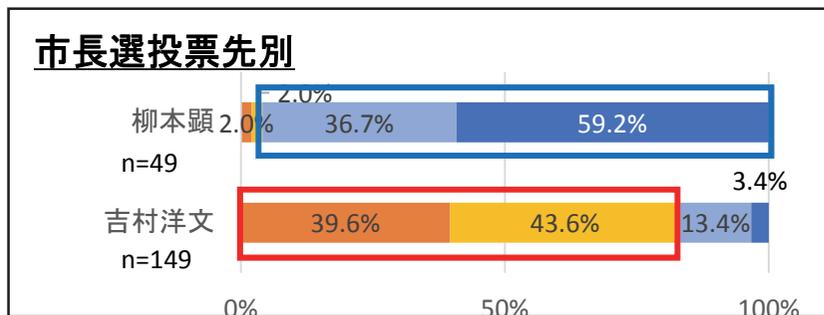
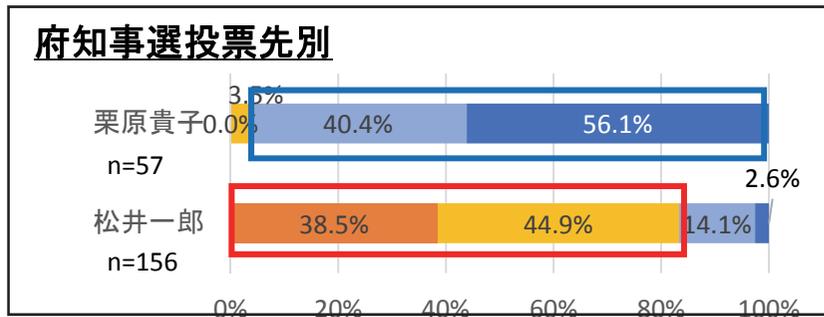
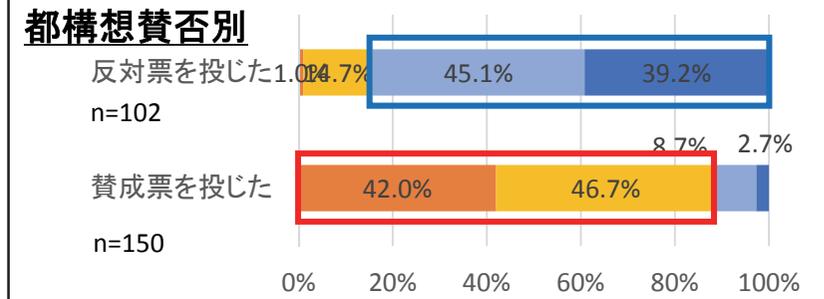
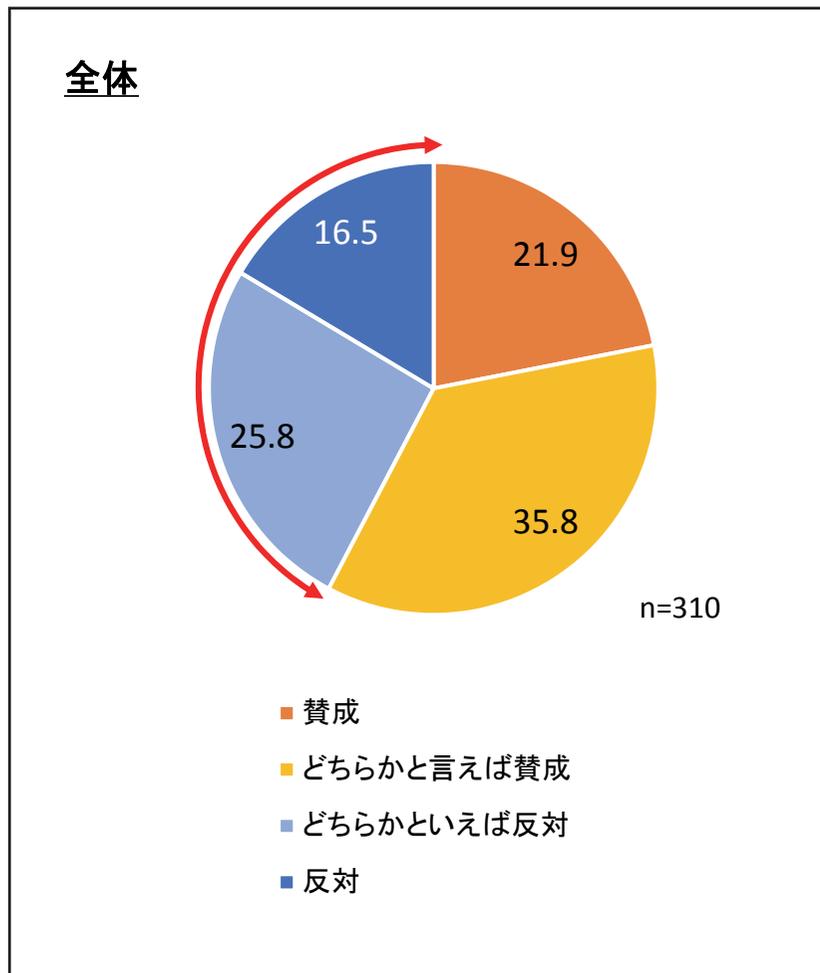
2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

大阪市廃止をどう思うか

選挙の争点

- 「大阪都構想によって、もし大阪市が廃止されるとすれば、大阪市廃止という方針自体をどう考えますか。」に対する回答結果を比較

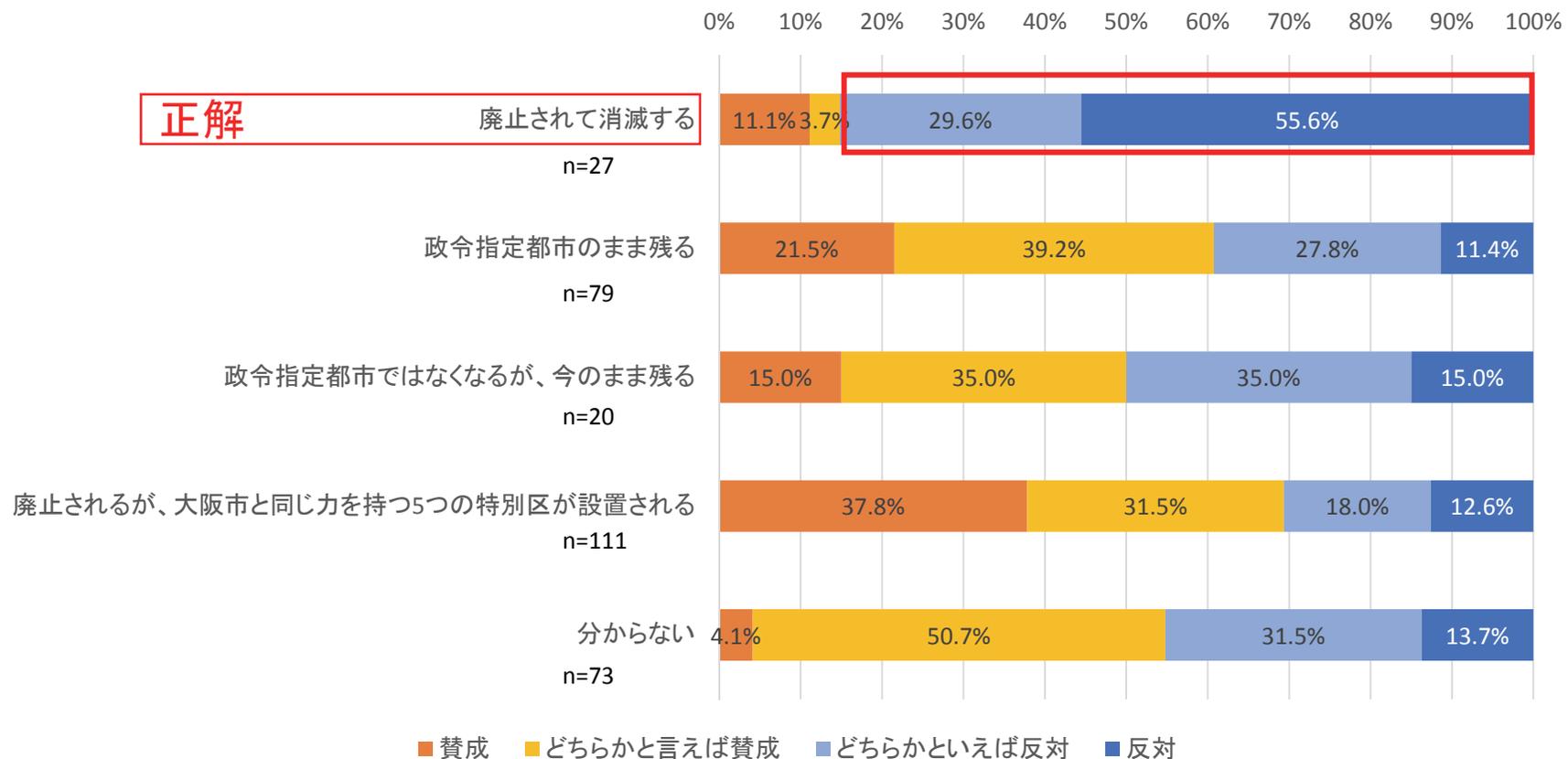
全体では約4割が反対，都構想賛成者，維新支持者の8～9割強が賛成



2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

都構想によって大阪市はどうか × 大阪市の廃止をどう思うか？

正解者の9割弱は「廃止」に反対
一方、不正解者の5割～7割弱は賛成

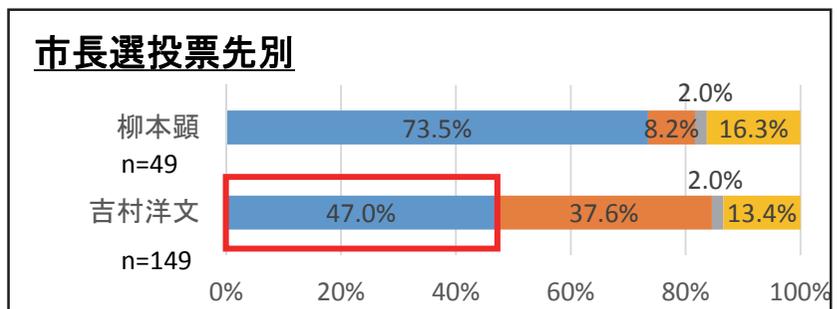
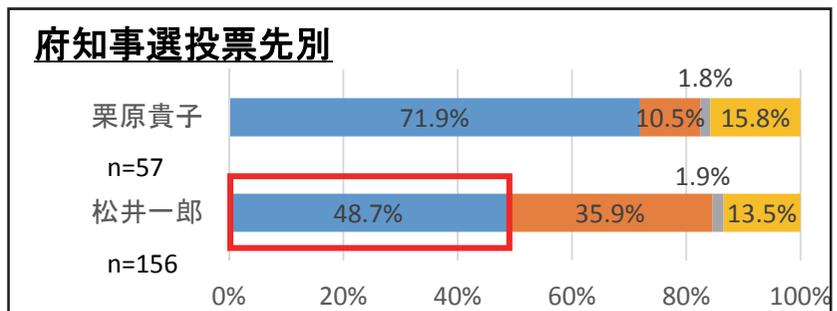
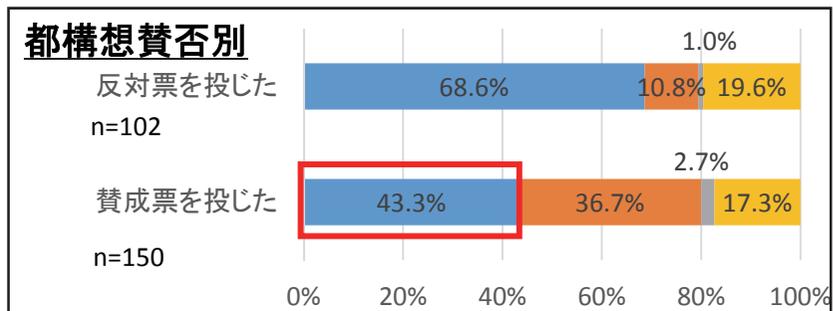
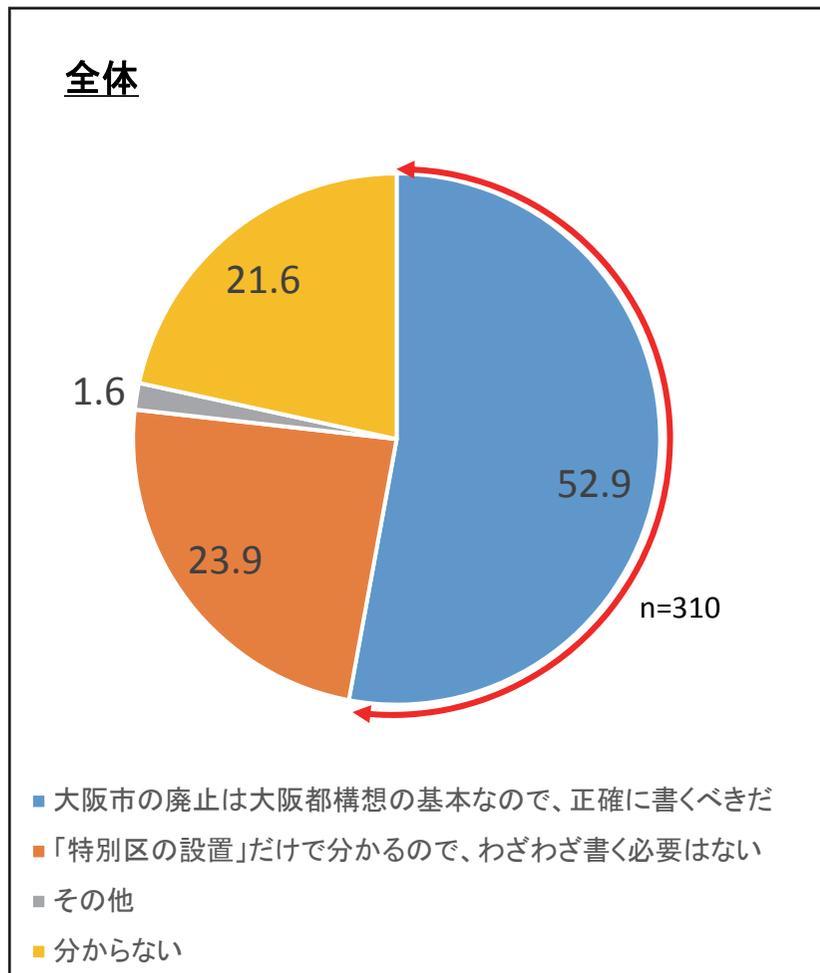


2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

投票用紙についてどう思うか

- 「昨年5月の住民投票では、投票用紙に「大阪市における特別区の設置に賛成か反対か」と書かれ、大阪市を廃止するとは説明されませんでした。このような投票用紙について、どうお考えですか。」に対する回答結果を比較

全体の約5割、都構想賛成者、維新支持者も約5割は「正確に書くべき」と回答

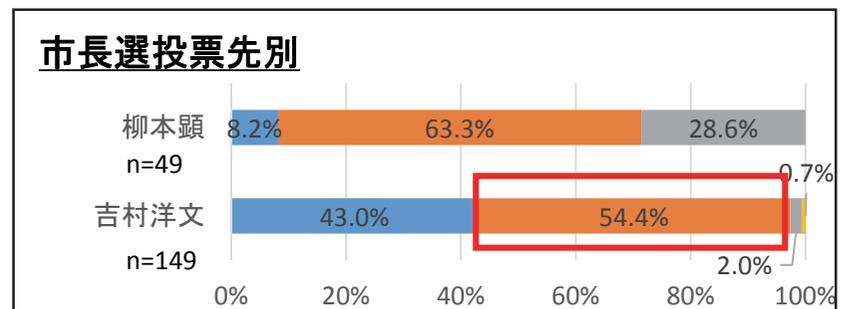
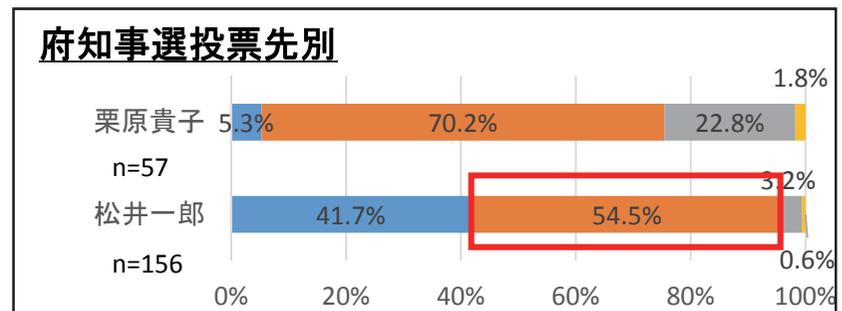
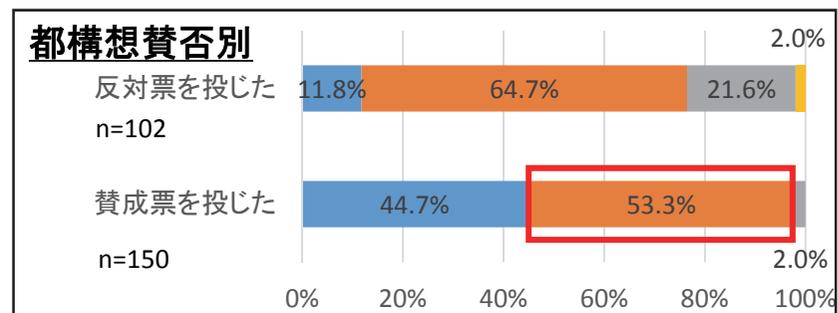
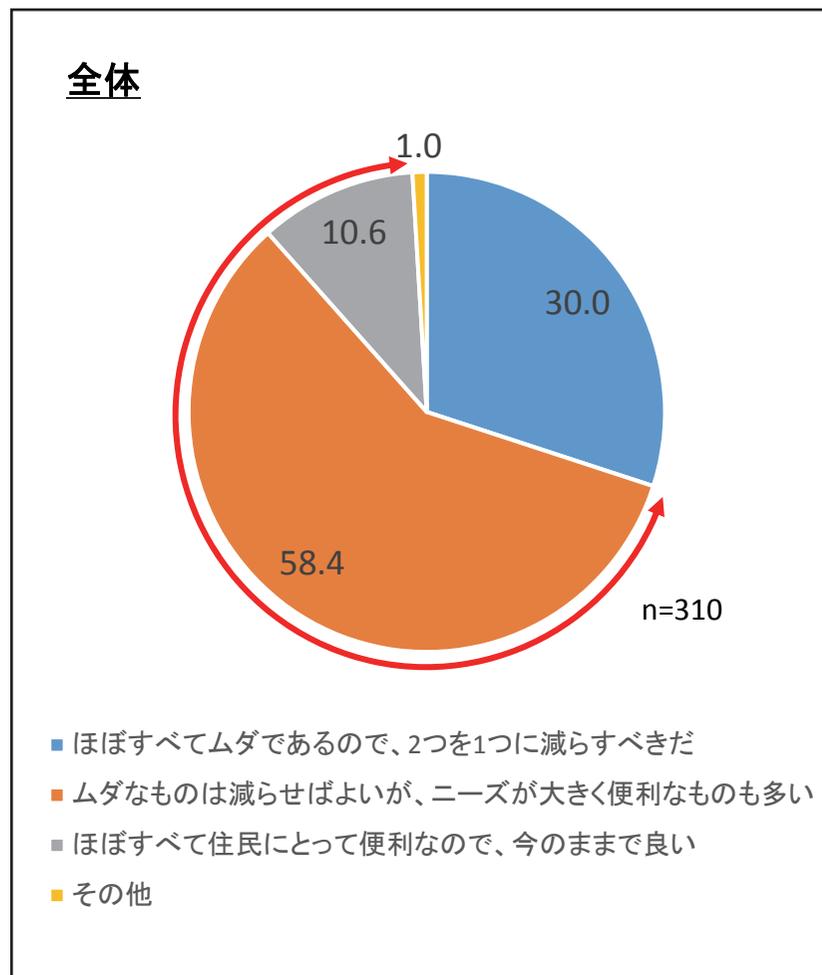


2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

二重行政についてどう思うか

- 「府と市の「二重行政」のうち中央図書館、中央体育館、大学、都市開発など同種の施設や事業について、どうお考えですか。」に対する回答結果を比較

全体の約7割，都構想・維新支持者も約5割は**二重行政の必要性を認識**



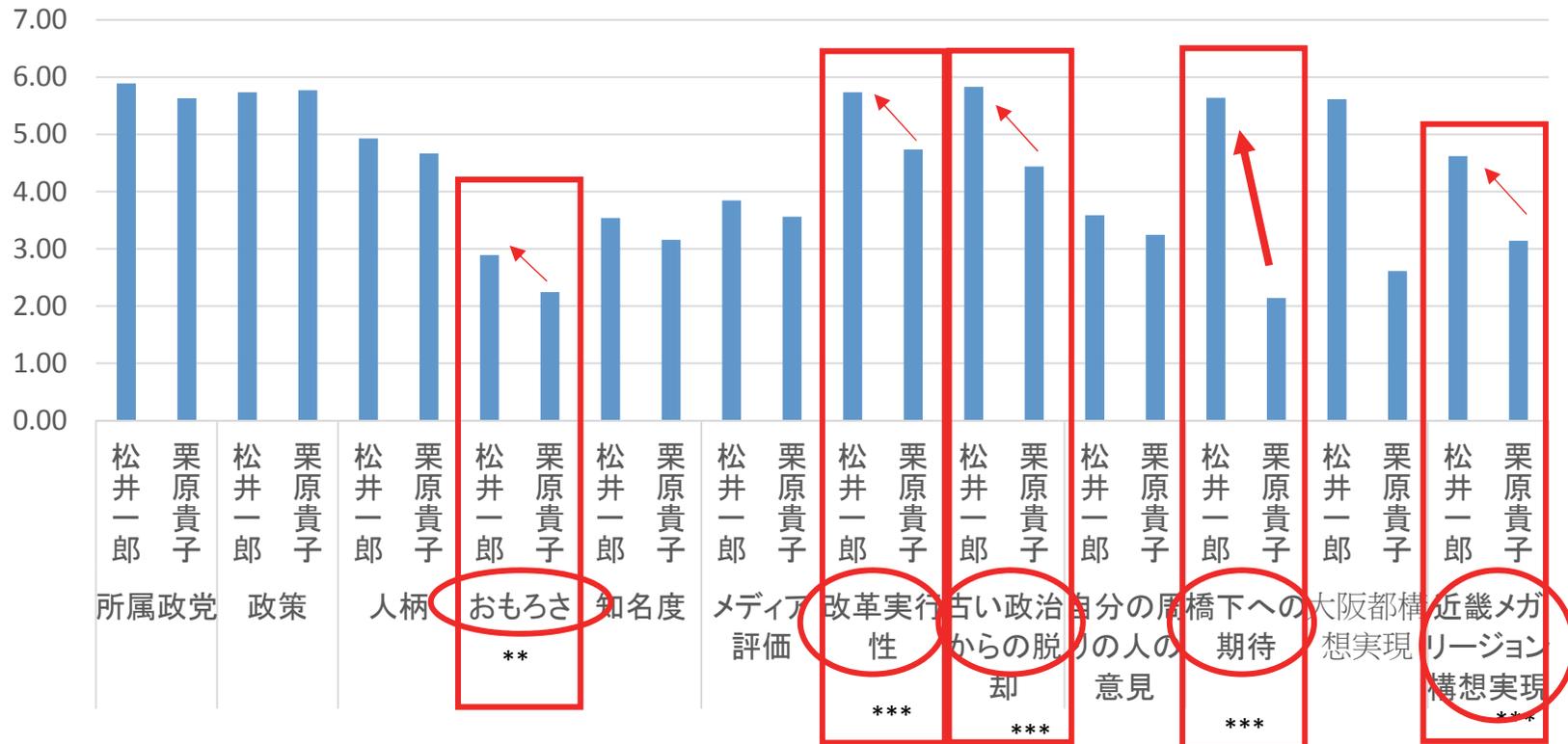
2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

投票の時に重視したもの（府知事選）

- 「投票先を決める時に以下の要因はどれくらい関係していましたか？」に対する回答
 （「7:とても関係していた」～「1:全く関係していなかった」）の平均値を投票先別に比較

維新支持者は「おもろさ」「改革実行性」「古い政治からの脱却」「橋下への期待」「都構想実現」「近畿メガリージョン」を重視している傾向
 （→「近畿メガリージョン」が維新の政策と誤解されていた？）

投票の時に重視したもの



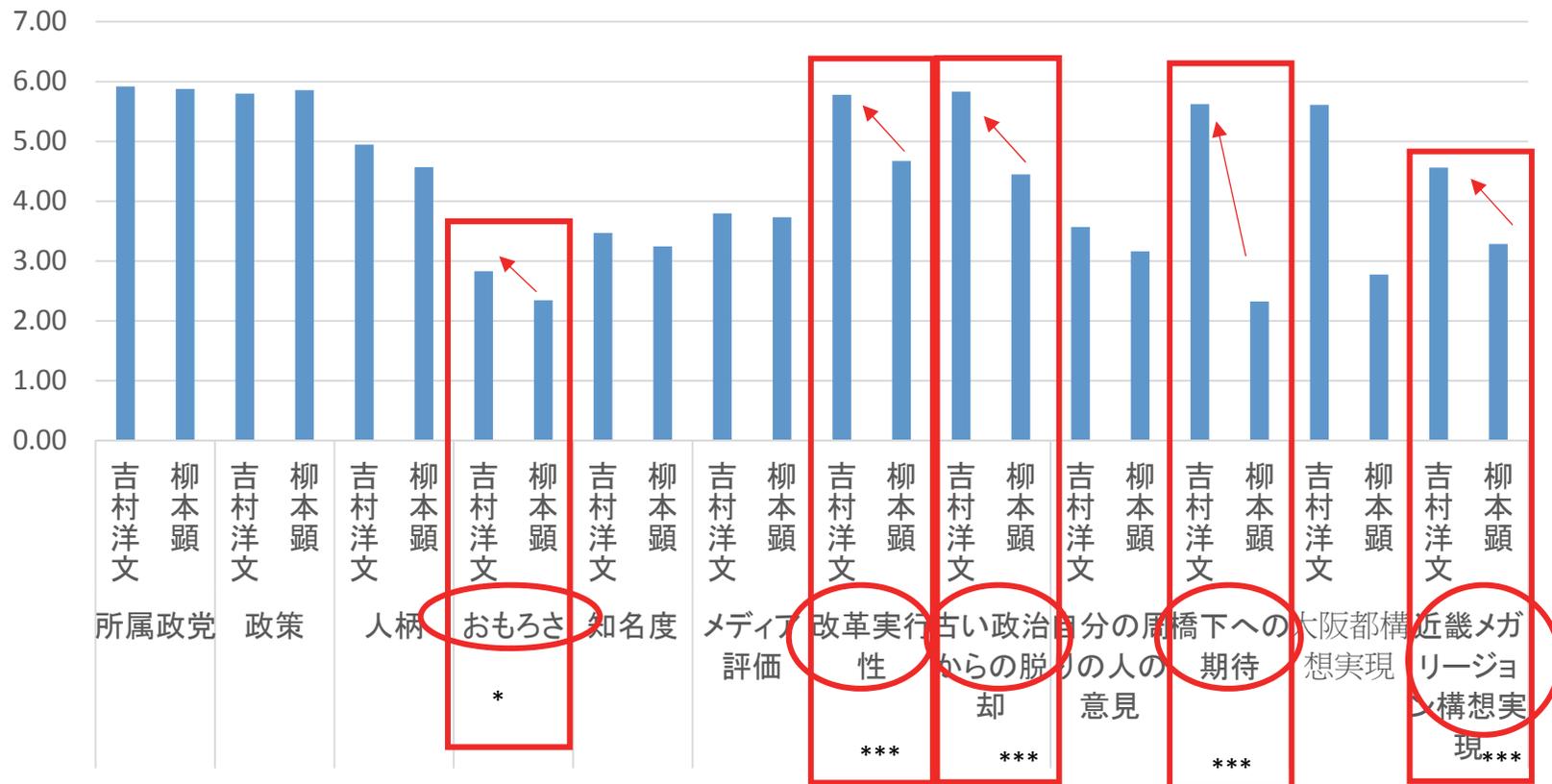
***1%有意, **5%有意

2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

投票の時に重視したもの(市長選)

- 「投票先を決める時に以下の要因はどれくらい関係していましたか？」に対する回答
(「7:とても関係していた」～「1:全く関係していなかった」)の平均値を投票先別に比較

維新支持者は「**おもしろさ**」「**改革実行性**」「**古い政治からの脱却**」「**橋下への期待**」「**都構想実現**」「**近畿メガリージョン**」を重視している傾向
(→「**近畿メガリージョン**」が維新の政策と誤解されていた?)



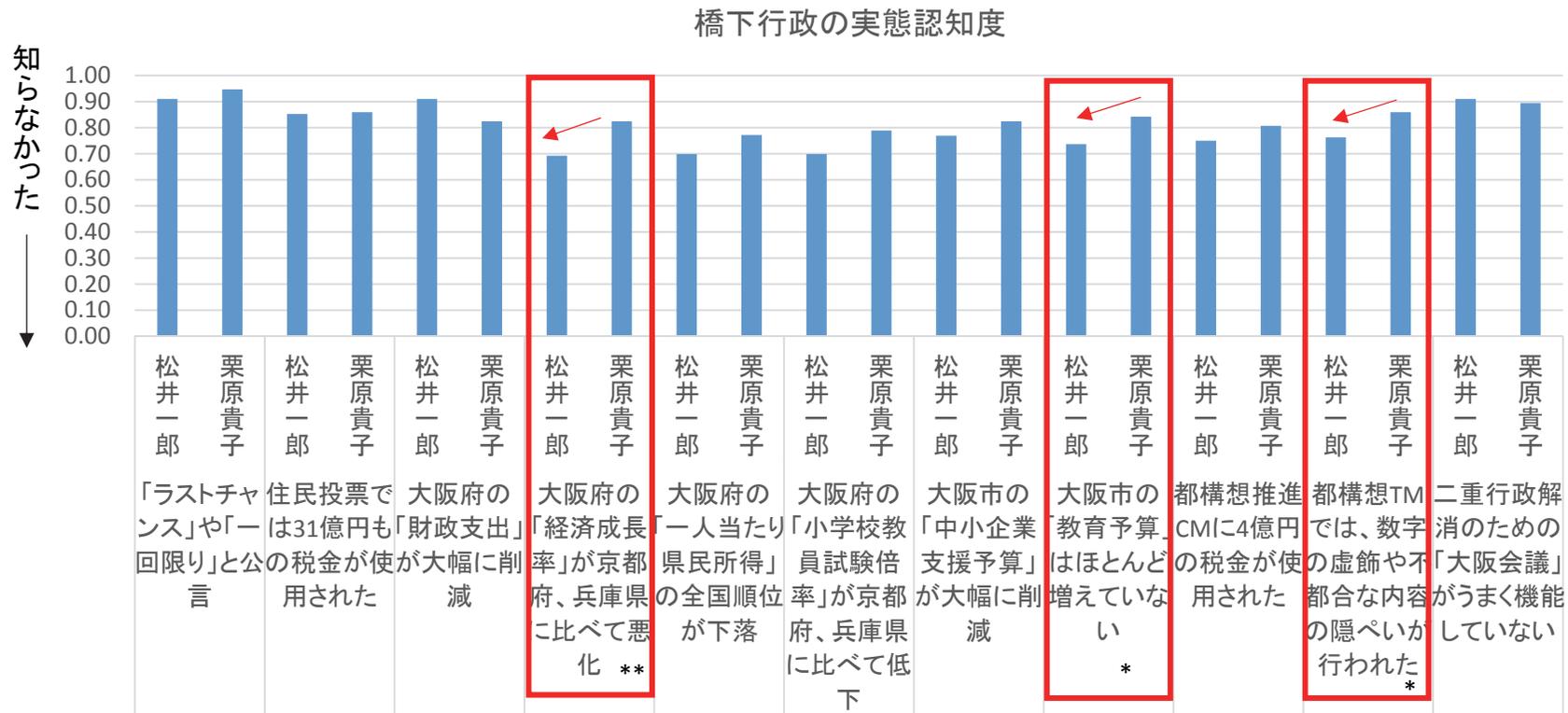
***1%有意, **5%有意

2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

橋下行政の実態認知度（府知事選）

- 橋下氏の行政運営を巡る以下の「事実」を知っていましたか？に対する回答の平均値を投票先別に比較※
※「(事実を)知っていた」を「1」、それ以外の選択肢を「0」とするダミー変数を作成し、投票先別に平均値を比較

維新支持者は、橋下氏就任後に「市の教育予算が増えていない」「府の経済が悪化した」「タウンミーティングで事実隠しをしていた」という事実を「知らなかった」傾向が高い



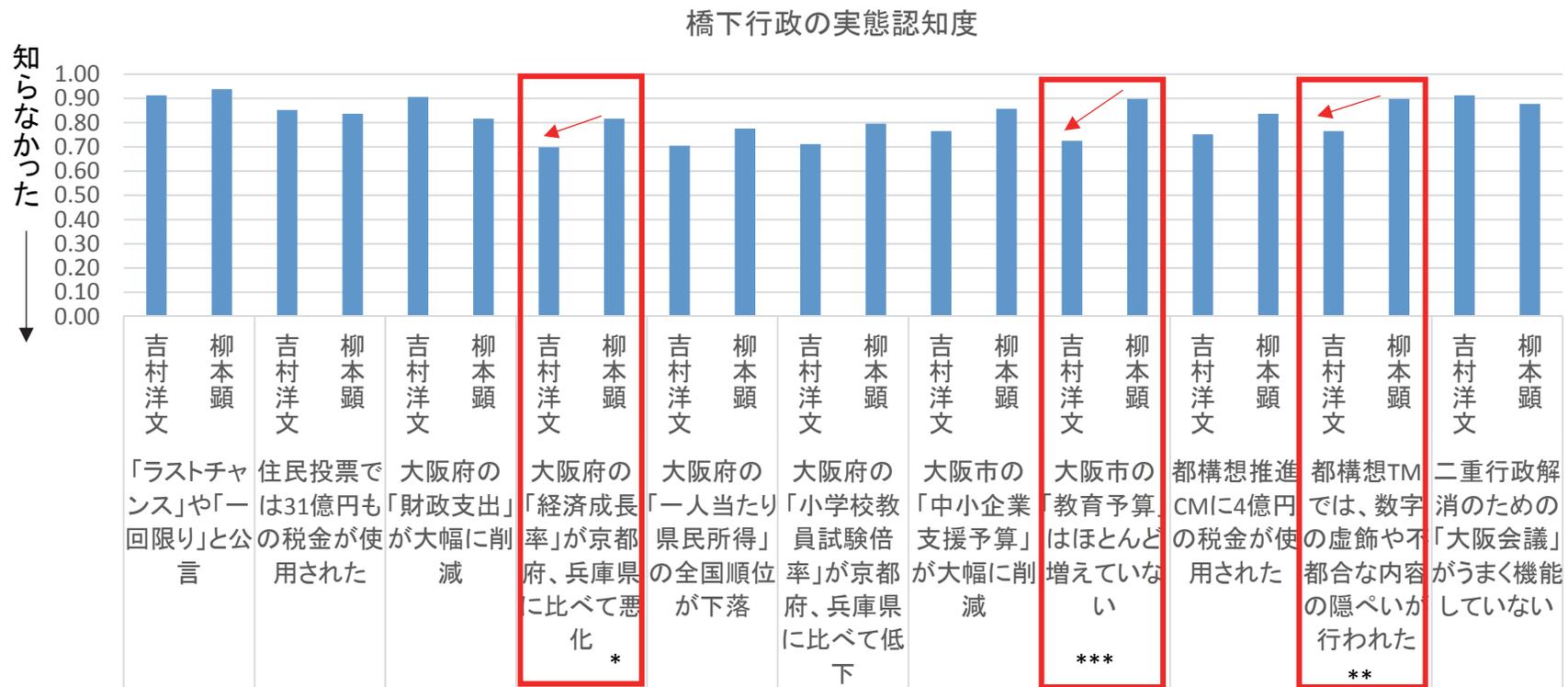
***1%有意, **5%有意, *10%有意

2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

橋下行政の実態認知度(市長選)

- 橋下氏の行政運営を巡る以下の「事実」を知っていましたか？に対する回答の平均値を投票先別に比較※
※「(事実を)知っていた」を「1」、それ以外の選択肢を「0」とするダミー変数を作成し、投票先別に平均値を比較

維新支持者は、橋下氏就任後に「市の教育予算が増えていない」「府の経済が悪化した」「タウンミーティングで事実隠しをしていた」という事実を「知らなかった」傾向が高い



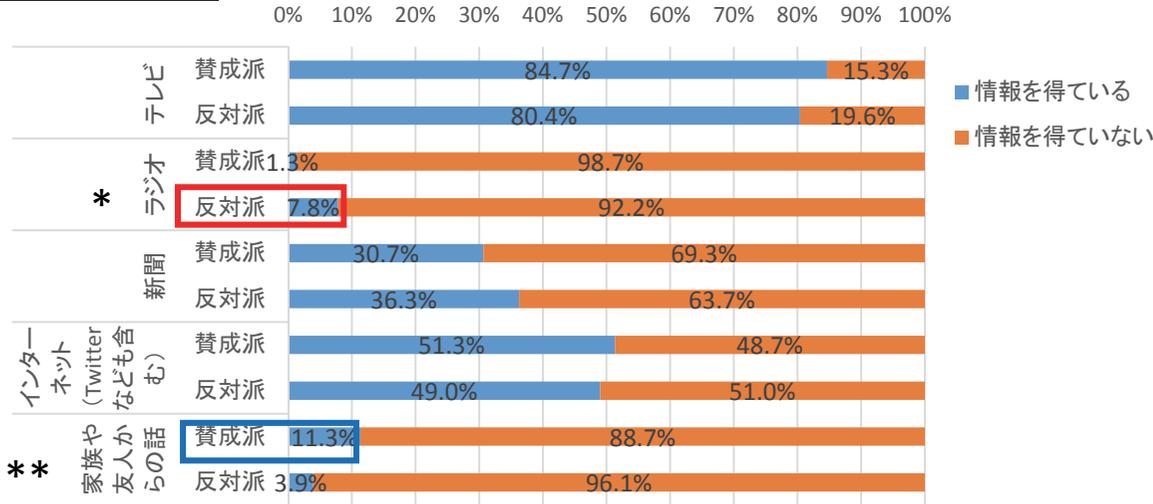
***1%有意, **5%有意, *10%有意

2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

社会に関する情報取得源

- あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。

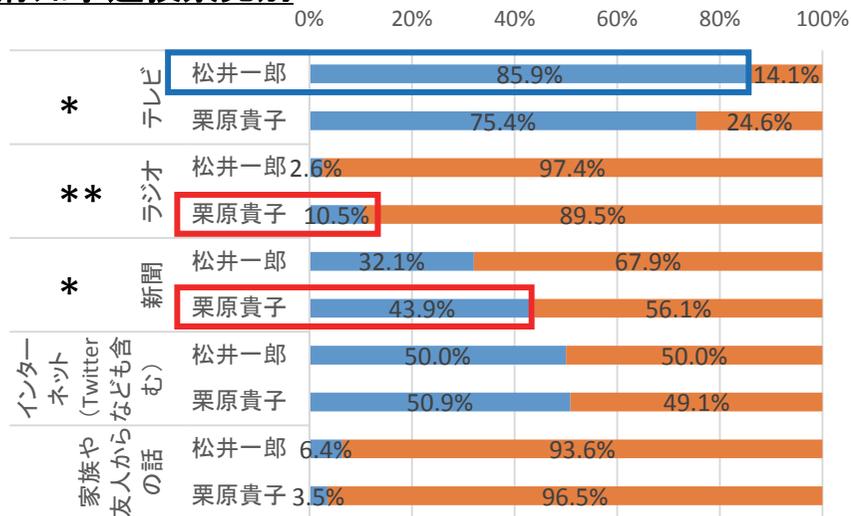
都構想賛否別



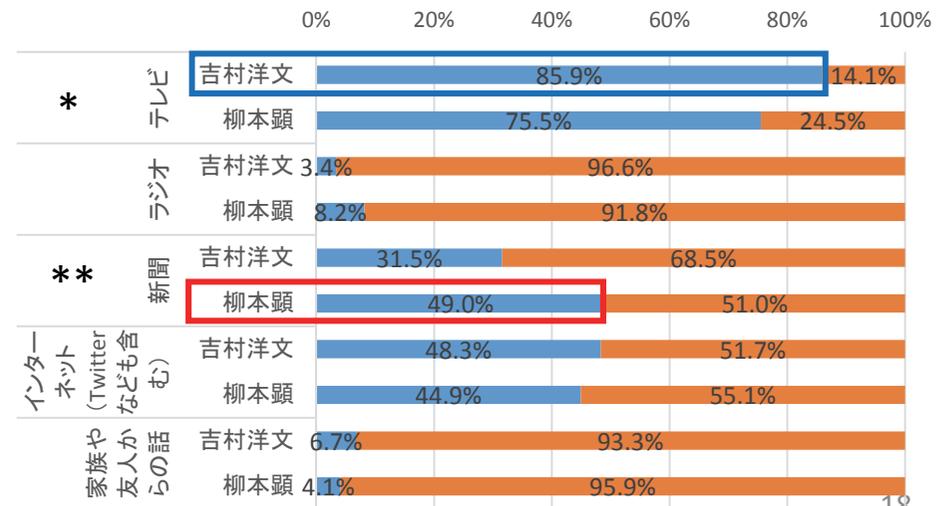
維新→テレビ
非維新→ラジオ・新聞

* 10%有意, ** 5%有意

府知事選投票先別



市長選投票先別



2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

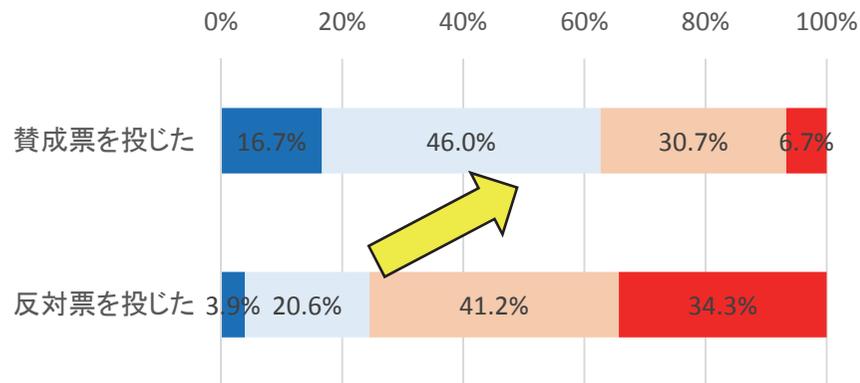
政治に対する態度

- 望ましい政治のあり方について、あなたの意見は次のどちらに近いですか。

A 政治は、選挙で選ばれた強いリーダーの決定に任せるべきだ。 独裁志向

B 政治は、人々の多様な意見を聞き、議論して進めるべきだ 自由民主志向

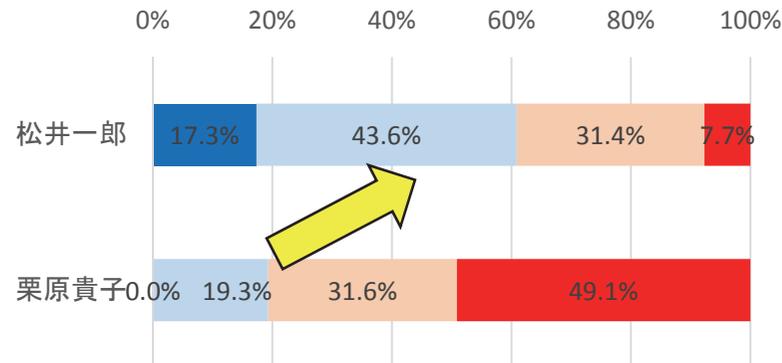
都構想賛否別



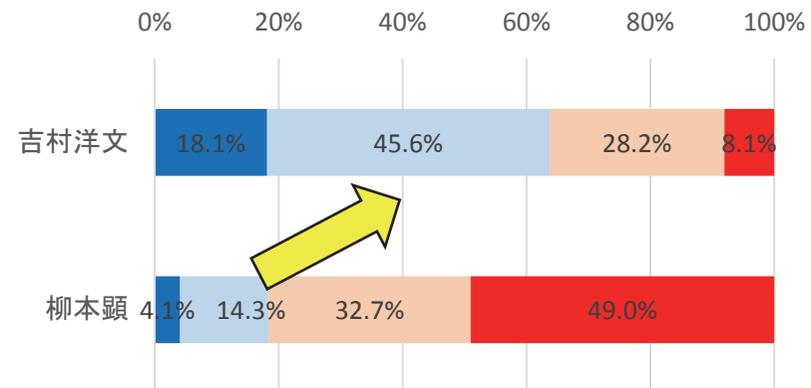
- A: 選挙で選ばれた強いリーダーの決定に任せるべきだ
- どちらかといえばA
- どちらかといえばB
- B: 人々の多様な意見を聞き、議論して進めるべきだ

維新 → 独裁志向
非維新 → 自由民主志向

府知事選投票先別



市長選投票先別



2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

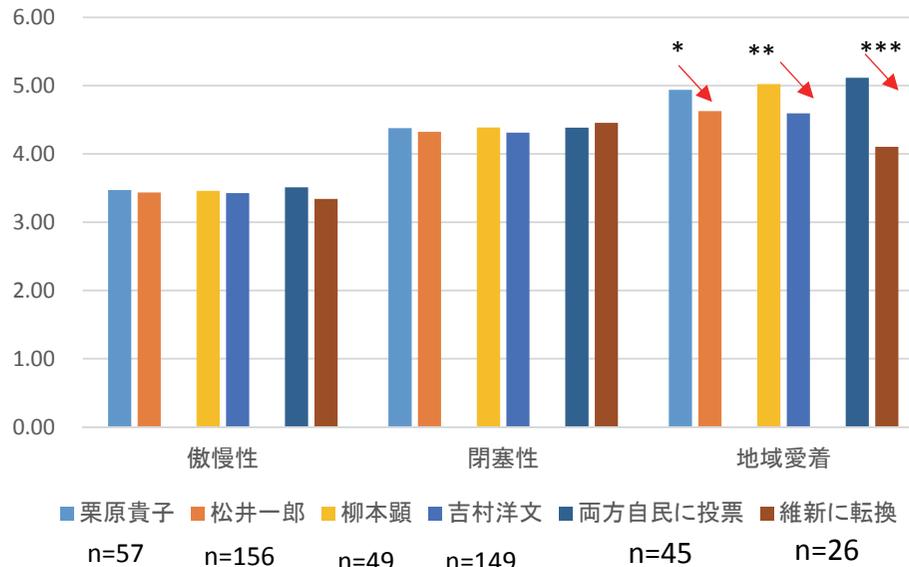
大衆性(傲慢性・自己閉塞性)と地域愛着

※逆転項目

- W選での投票先と尺度化した大衆性, 地域愛着の平均値を比較した

維新派及び維新派に転じた人は、
自民支持派と比べて「**地域愛着**」が**低い**

W選での投票先と大衆性, 地域愛着



***1%有意, **5%有意, *10%有意

傲慢性	1	自分を拘束するのは自分だけだと思う
	2	自分の意見が誤っている事などない、と思う
	3	私は、どんなときでも勝ち続けるのではないかと、何となく思う
	4	自分個人の「好み」が社会に反映されるべきだと思う
	5	どんなときも自分を信じて、他人の言葉などに耳を貸すべきではない、と思う
	6	「ものの道理」には、あまり興味がない
	7	物事の背景にあることには、あまり興味がない
	8※	日本が将来なくなる可能性は、皆無ではないと思う
	9	世の中の問題は、技術ですべて解決できると思う
	10	人は人、自分は自分、だと思ふ
	11	自分のことを、自分以外のものに委ねることは一切許されないことだと思ふ
	12	道徳や倫理などというものから自由に生きていたいと思ふ
自己閉塞性	13※	伝統的な事柄に対して敬意・配慮をもっている
	14※	日々の日常生活は感謝すべき対象で満たされている
	15※	世の中は驚きに満ちていると感じる
	16※	我々には、伝統を受け継ぎ、改良を加え、伝承していく義務があると思ふ
	17※	自分自身への要求が多いほうだ
	18※	もしも奉仕すべき対象がなくなれば、生きている意味がなくなるのではないかと思ふ
	19※	自分は進んで義務や困難を負うほうだ
地域愛着	1	地域は住みやすいと思ふ
	2	地域にお気に入りの場所がある
	3	地域を歩くのは気持ちよい
	4	地域ではリラックスできる
	5	地域の雰囲気や土地柄が気に入っている
	6	地域が好きだ
	7	地域は大切だと思ふ
	8	地域に自分の居場所がある気がする
	9	地域にずっと住み続けたい
	10	地域に愛着を感じている
	11	地域は自分のまちだという感じがする
	12	地域にいつまでも変わって欲しくないものがある
	13	地域になくなってしまうと悲しいものがある
	14	地域の歴史や伝統、文化を守りたいと思ふ
	15	地域らしさを失いたくないと思ふ
	16	地域の良さを次の世代に残したいと思ふ
	17	地域のアイデンティティを失いたくないと思ふ
	18	地域に誇りをもっている
	19	自分は地域の一員だという感じがする
	20	地域は日本国家の一部だと思ふ

要するに、「維新」を支持したのは....

- 「都構想の真実」を知らず、
- 「橋下行政の真実」を知らず、
- 政治に「おもしろさ」を求めて
- 「自由や民主」より「独裁」を重視し、
- 「新聞」よりも「テレビ」を重視する、
- 「地域愛着」を持たない人々だった。

....ということが**統計的検定**で明らかになった。

つまり.....

大阪の維新支持者は、

「昔ながらの大阪人」(なにわっこ)とは異なる

Osakaに滞在するTVっ子である。

....という傾向が統計的に示唆された。

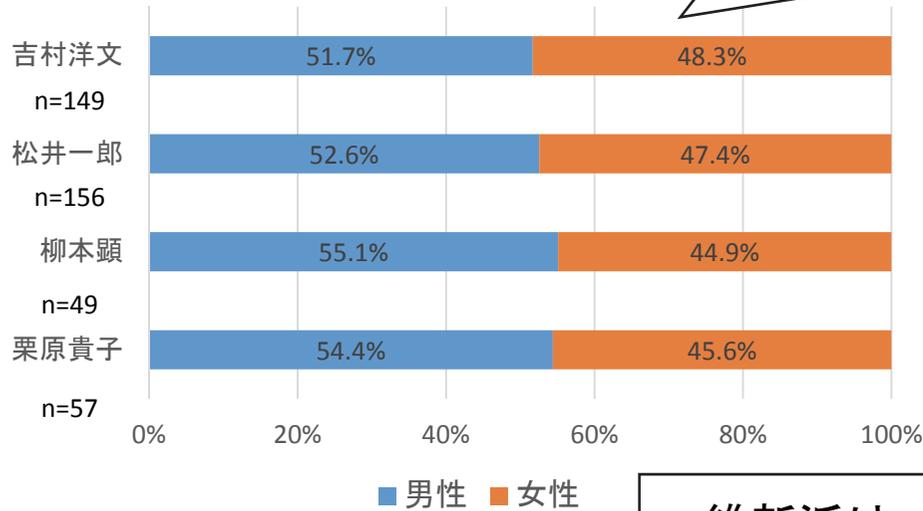
2. 誰が維新に投票したか

1. 誰が維新に投票したか

属性

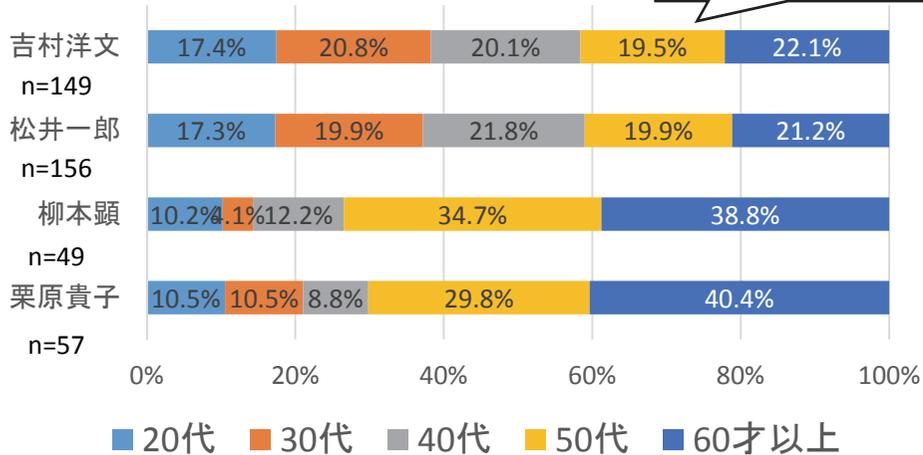
性別

男女比は
維新・非維新で同程度



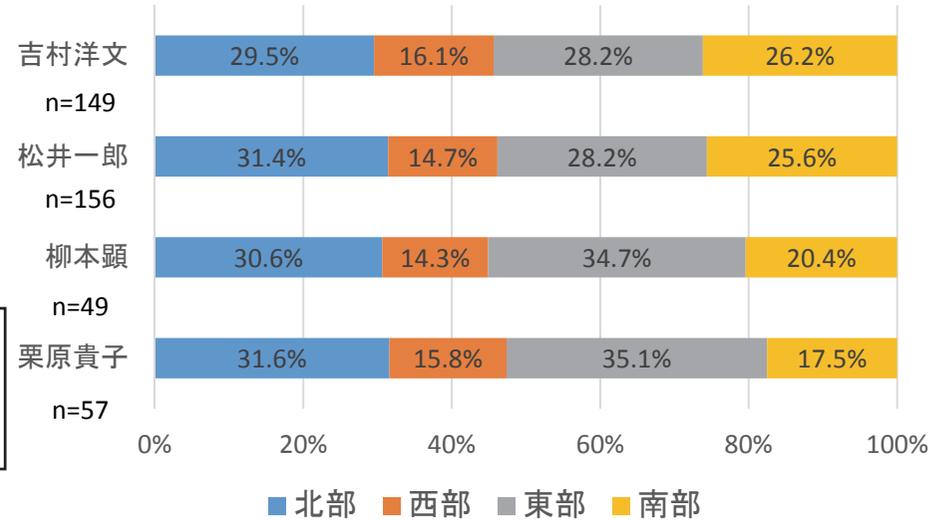
年代

維新派は
各年代均等



居住区

維新派は
南部がやや優勢



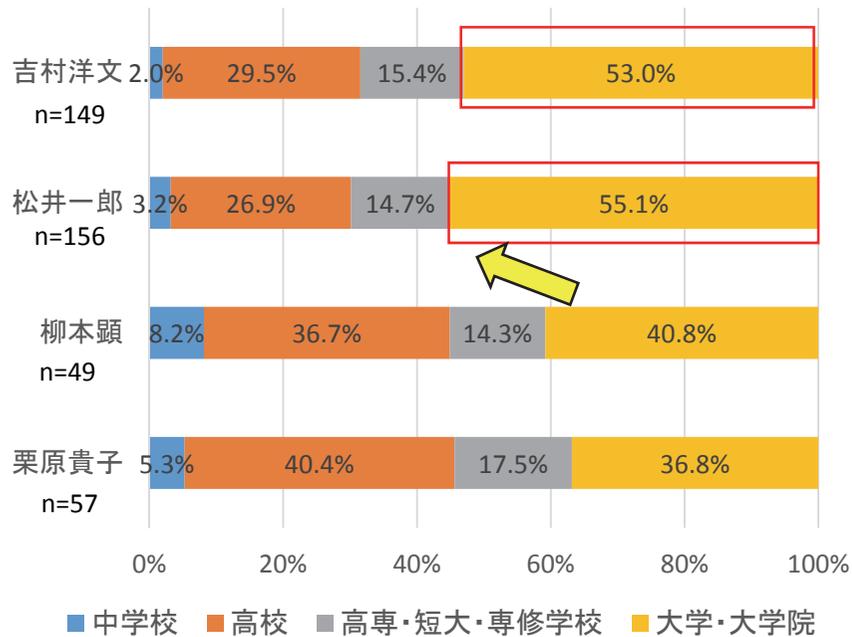
北部…北区、都島区、東淀川区、旭区、淀川区
 南部…阿倍野区、平野区、住之江区、西成区、住吉区、東住吉区
 東部…中央区、生野区、天王寺区、城東区、浪速区、鶴見区、東成区
 西部…福島区、港区、此花区、大正区、西区、西淀川区

1. 誰が維新に投票したか

属性

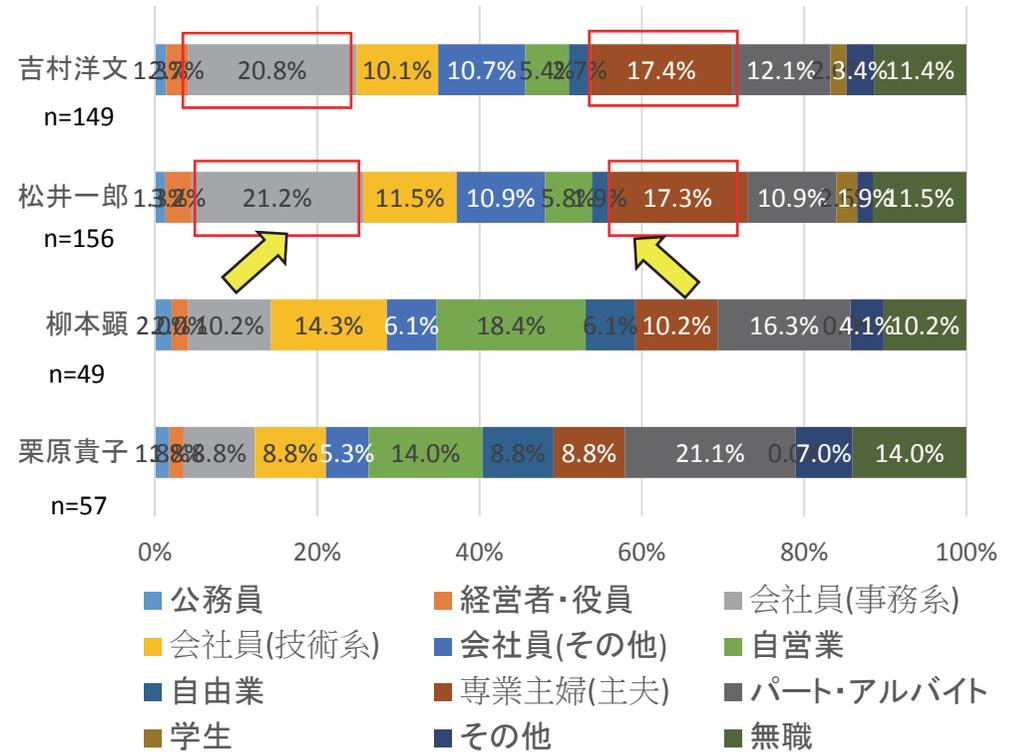
維新派は
高学歴傾向

学歴



維新派は事務系会社員,
専業主婦が支持

職業

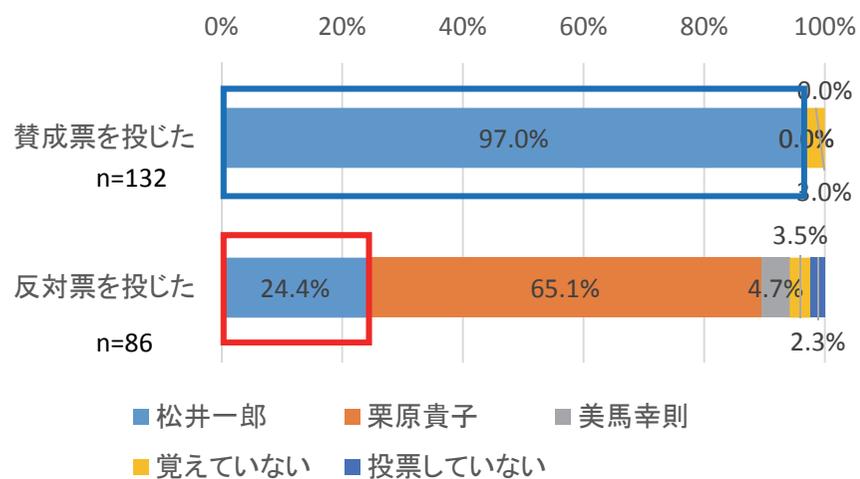


1. 誰が維新に投票したか

都構想賛否

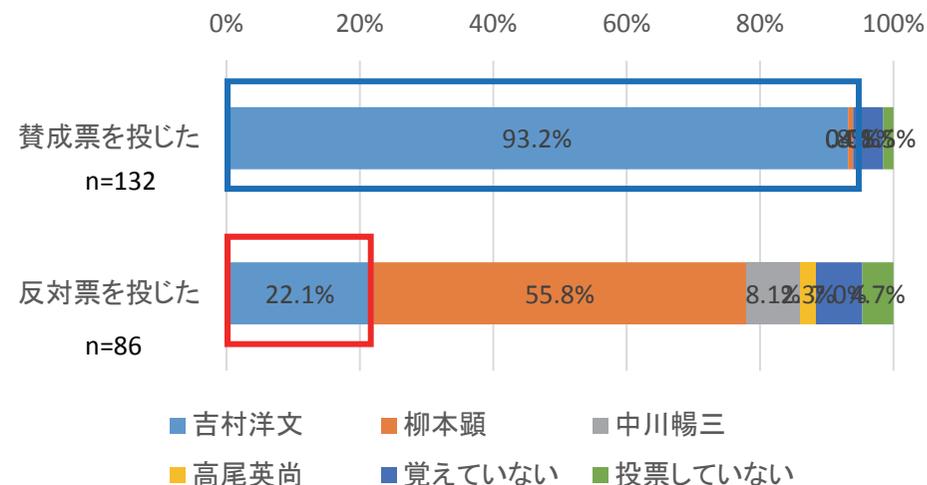
- 都構想賛成派は、W選でほぼ「維新」に投票
- 一方、都構想反対派の2割は「維新」に投票

都構想賛否 × W選(府知事)投票先



W選(府知事)投票先

都構想賛否 × W選(市長)投票先



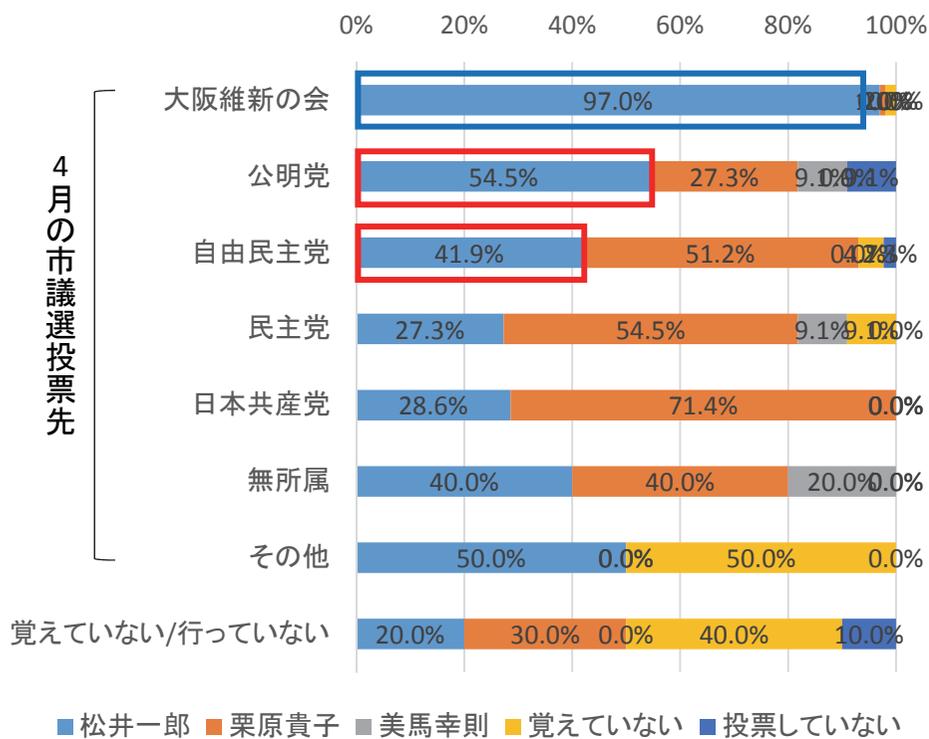
W選(市長)投票先

1. 誰が維新に投票したか

市議選投票先

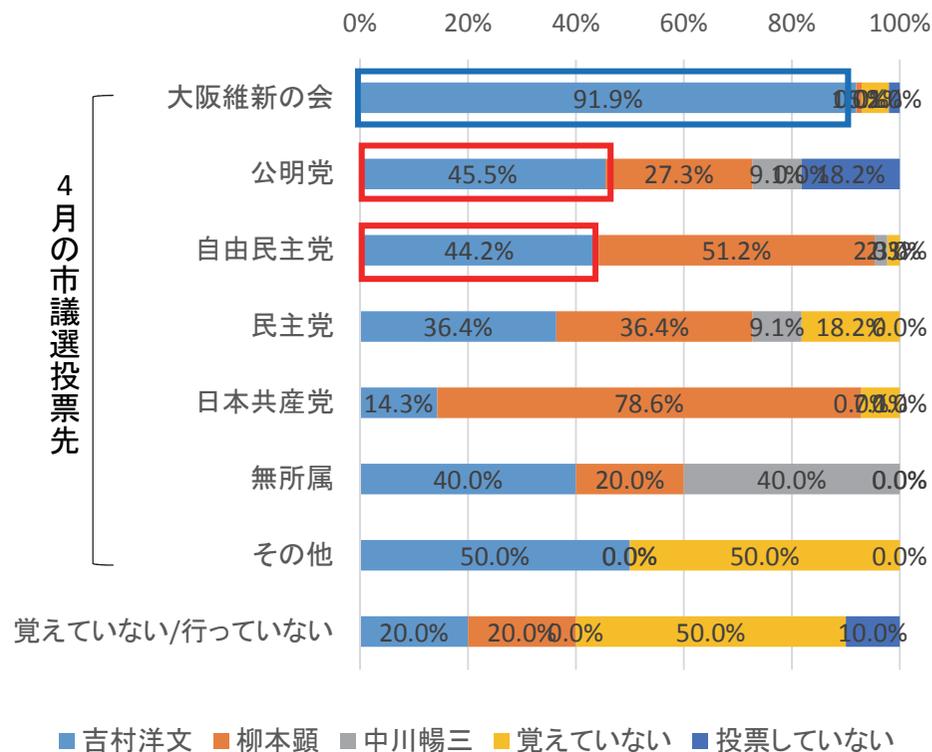
- 昨年4月の市議選で自民党・公明党に投票した人の4～5割がW選で「維新」に投票
- 維新支持者は、ほぼ取りこぼしなし

市議選投票先 × W選(府知事)投票先



W選(府知事)投票先

市議選投票先 × W選(市長)投票先



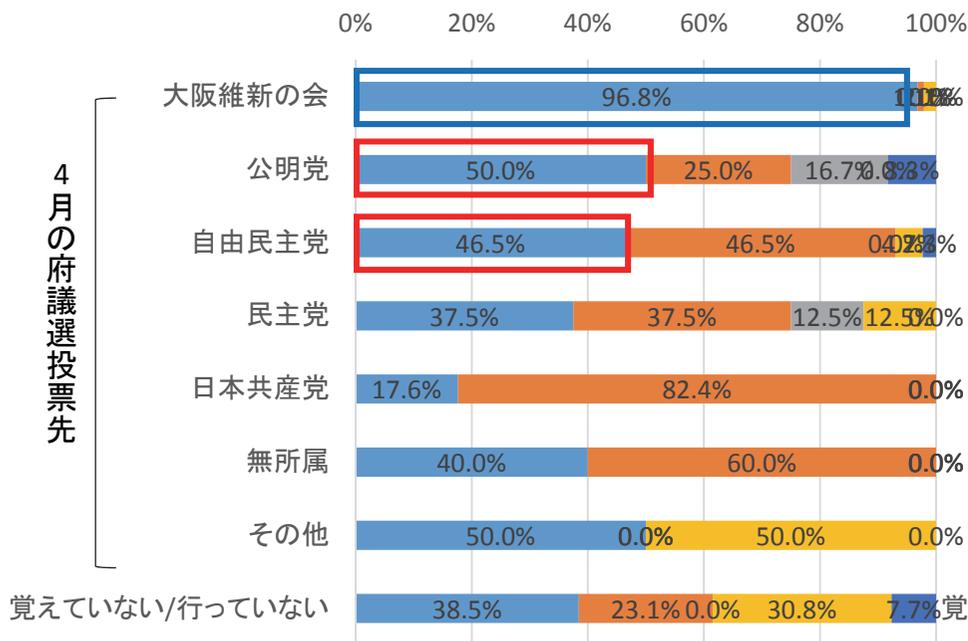
W選(市長)投票先

1. 誰が維新に投票したか

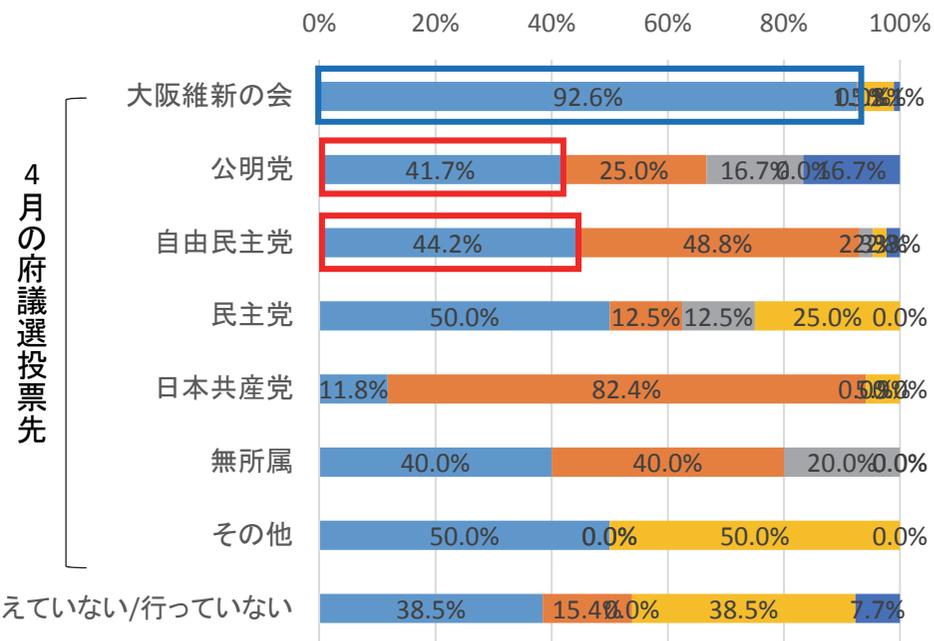
府議選投票先

- 昨年4月の府議選で自民党・公明党に投票した人の4割～5割がW選で「維新」に投票
- 維新支持者は、ほぼ取りこぼしなし

府議選投票先×W選(府知事)投票先



府議選投票先×W選(市長)投票先



■ 松井一郎 ■ 栗原貴子 ■ 美馬幸則 ■ 覚えていない ■ 投票していない

■ 吉村洋文 ■ 柳本顕 ■ 中川暢三 ■ 覚えていない ■ 投票していない

W選(府知事)投票先

W選(市長)投票先

維新を支持したのは....

- 都構想反対の「2割」
- 自民・公明支持層の4～5割
- 大卒・院卒
- 非技術系の会社員と、主婦層
(自営・自由業、技術系会社員は自民支持)

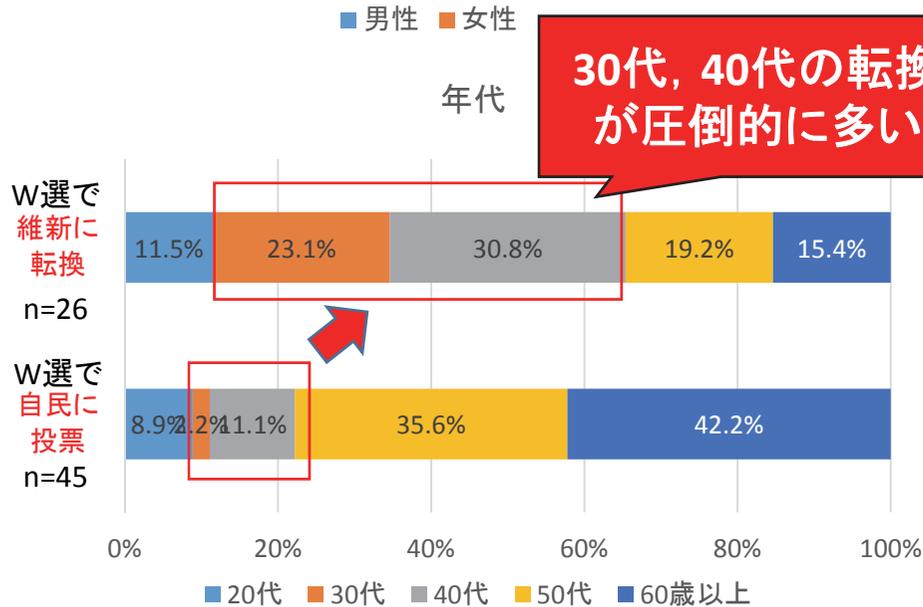
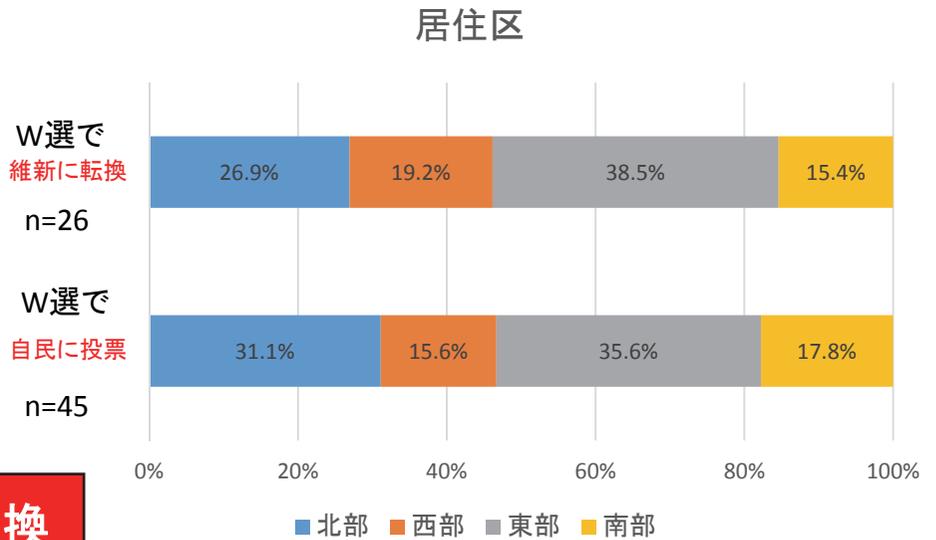
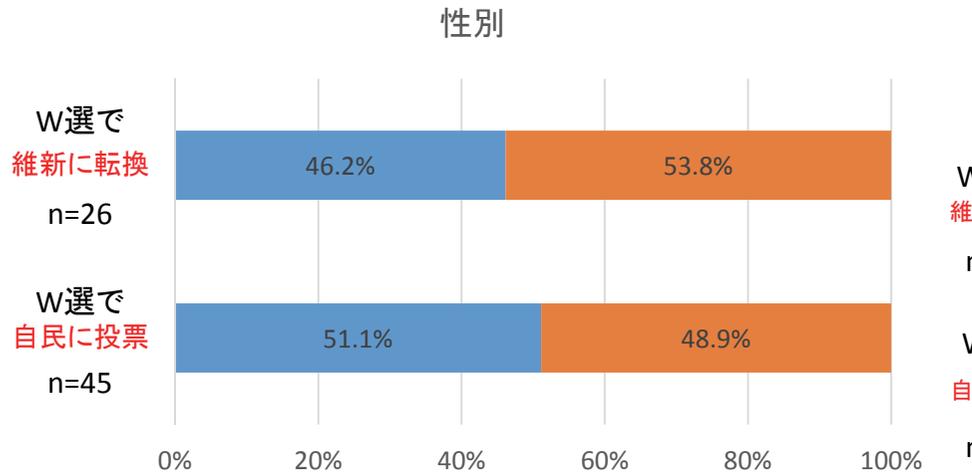
⇒「文系の高学歴者」と「主婦」が維新支持
(= 事実よりイメージを優先する人々)

3. 都構想反対派から 維新派に転じた人の特徴

3. 都構想に反対していた人のうち....

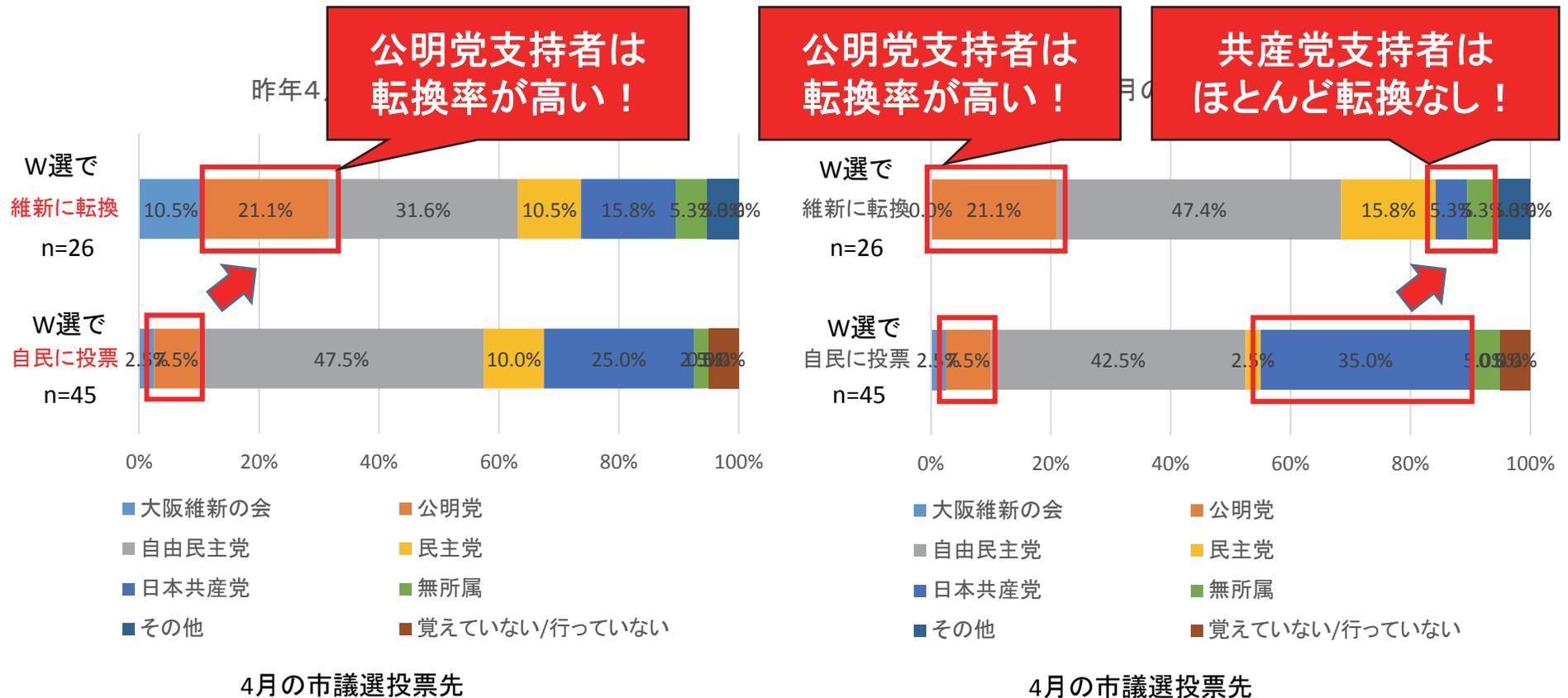
属性

維新に転換:「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれか一方でも維新に投票した人」
 自民に投票:「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれも自民に投票した人」



北部...北区、都島区、東淀川区、旭区、淀川区
 南部...阿倍野区、平野区、住之江区、西成区、住吉区、東住吉区
 東部...中央区、生野区、天王寺区、城東区、浪速区、鶴見区、東成区
 西部...福島区、港区、此花区、大正区、西区、西淀川区

3. 都構想に反対していた人のうち....



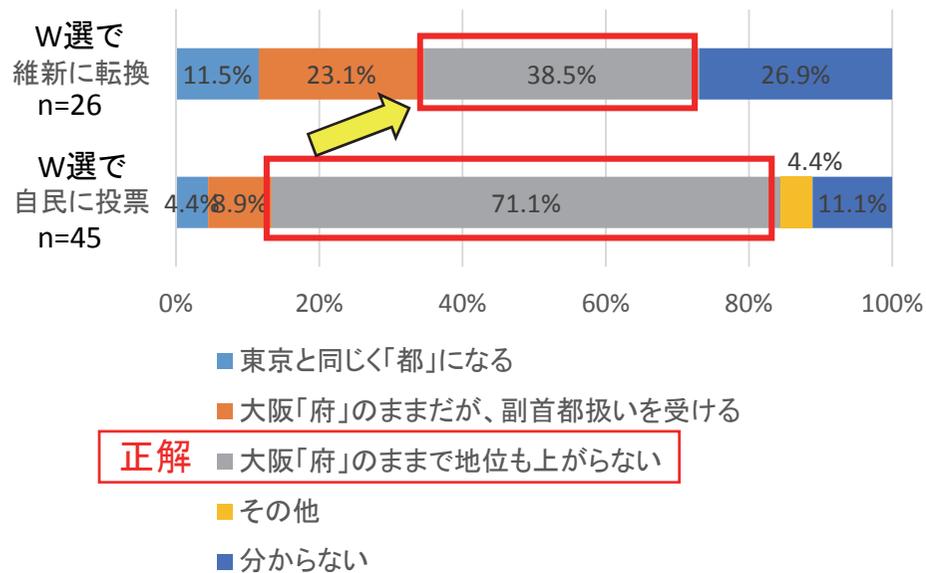
維新に転換:「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれか一方でも維新に投票した人」
 自民に投票:「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれも自民に投票した人」

3. 都構想反対派から維新派に転じた人の特徴

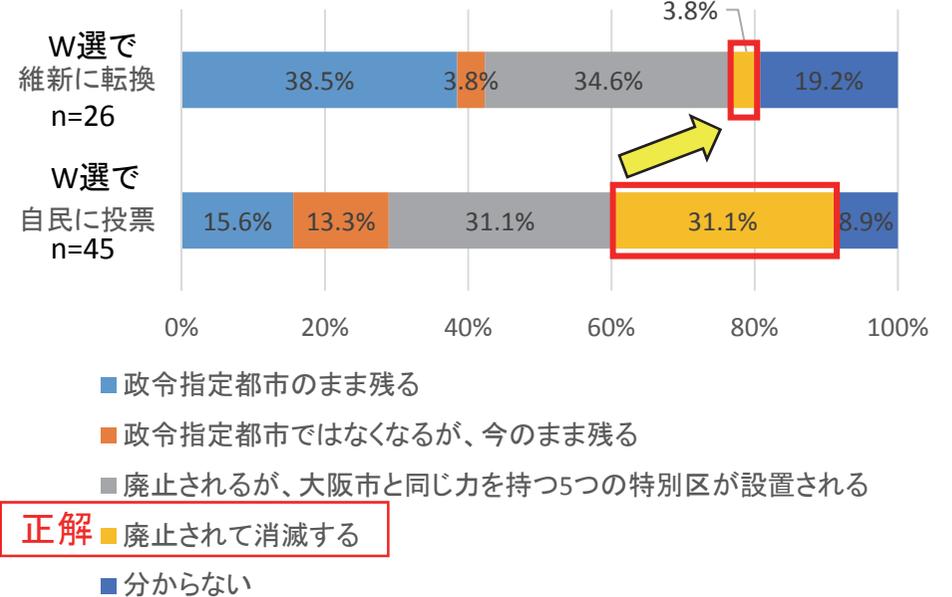
都構想で大阪府・市はどうなるか

「都構想の真実を知らない人」の転換率が高い

都構想が実現すると、大阪府はどうなるか



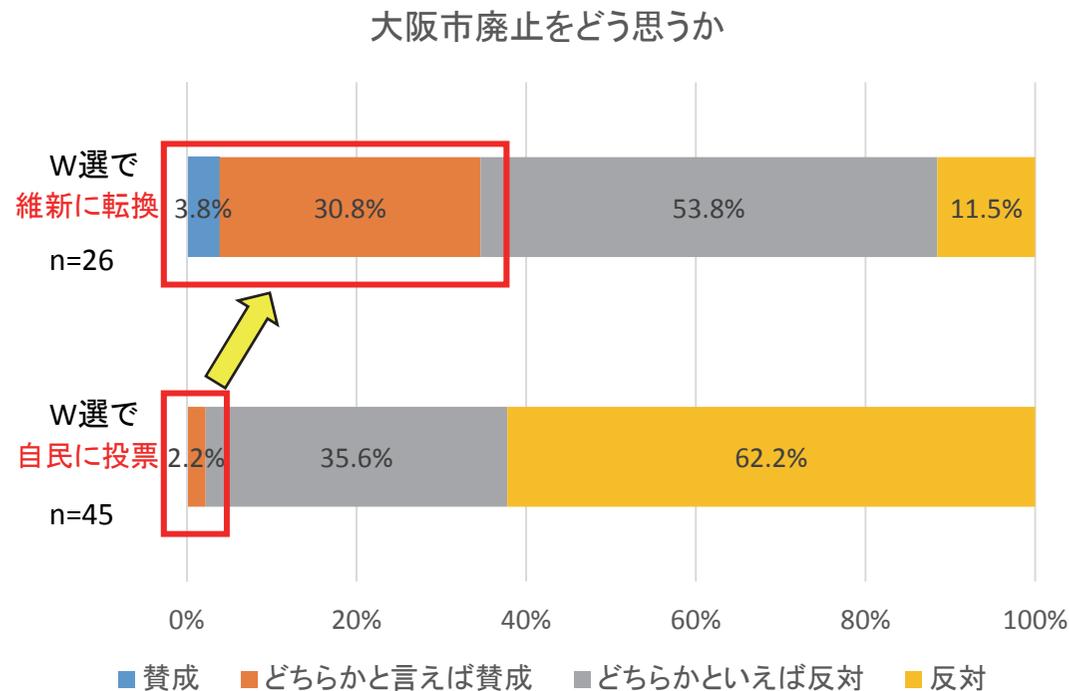
都構想が実現すると、大阪市はどうなるか



維新に転換: 「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれか一方でも維新に投票した人」
 自民に投票: 「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれも自民に投票した人」

大阪市廃止をどう思うか

「大阪市廃止に賛成」の人たちの大半が、**転換**



維新に転換: 「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれか一方でも維新に投票した人」
自民に投票: 「都構想に反対票を投じた」かつ「W選でいずれも自民に投票した人」

「維新」に**転向**したのは....

- 「都構想の**真実**」を**知らず**、
- 「大阪市**廃止に賛成**」している者。

そして....

- **30～50歳の**、
- 「**公明党支持者**」(+ **自民/民主支持者**)に**多い**
- **共産党支持者は転向がほとんどいなかった**

まとめ

- 「維新／都構想」を支持したのは、
「都構想の**真実**を知らず、
イメージを重視する人たち。
(※ 30～50歳の「**文系の高学歴者**」と「**主婦**」が主体)

- しかも、「**都構想の真実**」を知る人はごく一部。
それが、W選での**維新の勝利**を導いた。

↑

- 「**都構想反対者**」の2割の維新への転向が直接因。

↑

都構想の**真実**を知らず、大阪市廃止に賛成する
40代以下の公明・自民・民主の支持者

今の大阪の政治状況は、
9割の人々に都構想の「真実」が
周知されていなかったことが原因。

なぜそうなったのか....

一つの仮説は....

「為政者の詭弁(=ウソ)」が原因。

これを「実証的・学術的に検証」する。

為政者の政治的言説にみられる 詭弁に関する実証的研究

～京都大学藤井研究室2015年度卒業論文より

詭弁とは

詭弁：①道理に合わぬ弁論。理を非に言い曲げる弁論。こじつけの議論
②相手を騙すために行われる、外見上はもっともらしい虚偽の推論

(広辞苑より)

詭弁のような欺瞞行為には、以下の特性があると指摘されている。

印象操作：論者が如何に誠実であるか、あるいは論敵が如何に不誠実であるか不当な印象を付与する。

偽装性：真実を隠して偽りの情報を与え、不当に自説の正当化を図る。

(工藤, 1990)

論理学で定義されている各種詭弁

	大分類	小分類	定義
1	非形式的虚偽	論点変更の虚偽	弱弁を強弁したり相手の正論を論駁するために、故意に論点をすりかえたり、問題となっていることがらと論理的に無関係な論点を導入する誤り。
2		対人論証	ある人の言説を弁護したり論駁しようとするさい、その人の性行やその他個人的事情に訴える誤りのこと。
3		全称の誤用	例外を無視した一般化を元に論旨を展開する誤り。
4		軽率な一般化	わずかの事例からこれらの事例が属する集合全体について一般命題を定立したり、あるいは望ましい結論にとって都合の良い肯定的事例にのみ注目して否定的事例を無視するような所謂「単純枚举」による帰納推理の誤り。
5		幻法水煙	根拠のない噂をでっち上げて、人を不信と疑惑の淵に落とし入れること。
6		藁人形論法	議論において対抗する者の意見を正しく引用しなかったり、歪められた内容に基づいて反論するという誤った論法、あるいはその歪められた架空の意見そのものを指す
7		虚偽択一法	或る事柄を主張ないし弁護する動機が良くないから、その事柄も受け入れられないと論じる誤り。
8		因果関係誤認の虚偽	必ずしも断言できない因果関係を定立する誤り。同一の結果が複数の種類の原因から生じるにも拘らず、十分調査せず或る一種の原因であると速断する誤りなどである。
9		先決問題要求の虚偽	自身の見解を支持する論証を組み立てる際、証明すべき問題の見解そのものを頭から真とみなして、前提の中に組み入れる誤り。
10		語意もしくは文意曖昧の虚偽	使用される言葉が多義のため、あるいは文全体の意義がたとえば構文上の理由などで曖昧なため生じる誤り。
11		類比の虚偽	二つの事物がある一点において類似しているということを根拠にして、他の点でも両者が類似しているとする誤り。
12		比喻の虚偽	論証の十分な論理的根拠とみなしえないような比喻をたんに挙げるだけで自説の理由とする誤り。
13		哀れみに訴える論証	相手の同情心に訴えて自説を説得する誤り。
14		本質的に曖昧な語句	文脈が確定した場合でも、或る語句に万人が認めるような明快な意味を持たない語句を使用する誤り。
15		総数詐術	百分率や比率によってこそよりの確な情報が提供できる事柄に関して、敢えてその発生総数だけを提示して誤解を誘導しようとする誤り。
16		歪曲論証法	或る事柄に関して肯定的根拠、あるいは否定的根拠が十分でないと指摘することで、その主張が正しくないあるいは正しいとする誤り。
17	形式的虚偽	前件否定	或る命題の裏を論証なしに真であるとする誤り。

研究手法

分析対象の選定

- ◆ 分析対象者(都構想の賛成派1名、反対派(右派1名、左派1名))
 - ・ 橋下徹 元大阪市長
 - ・ 柳本顕 自民党大阪市議団幹事長
 - ・ 山中智子 日本共産党市議団幹事長
- ◆ 対象とする政治的言説
 - ・ 2015年2月12日放送, MBSの「VOICE」
 - ・ 2015年4月17日から2015年5月17日の一ヶ月間に発信されたTwitter

「プロトコル分析法」に基づく発話データ分析

- ・ Simon & Eriksonが提案した分析方法。
- ・ 「詭弁」を定義した上で、複数分析者で書く発話データがそれに該当するか否かを逐一判定。両者が一致すれば確定させ、一致しない場合、両者の議論を通して詭弁種別を確定。

先決問題要求の虚偽 (fallacy of begging the question)

【論理学概論 大田莞爾, 1981】

論証の基礎となる一般原理を何らの証明なしに自明のこととして、あるいは一般に承認されたものとして仮定する誤り。

例. 1

橋下氏Twitter (2015年4月17日より抜粋)

民営化されればもっとサービスは良くなるのですが、維新以外の市議会が反対しています。

ゆえに大阪都構想で民営化を実現しなければなりません。

分類理由

「民営化されればもっとサービスが良くなる」という命題を根拠にしているが、真偽が定かではない。それにも拘らず先決的に断言し不当に自説の正当化を図っているため、先決問題要求の虚偽である。

本質的に曖昧な語句 (fallacy of vague terms)

【虚偽論入門 須原一秀, 1983】

万人が認めるような明快な意味を持たない語句を用いる誤り。

例. 2

橋下氏Twitter

霞が関の膨大なチェックを受けて、総務大臣のチェックまで受けた大阪都構想の設計図に、行政実務を知っている学者は制度上の問題点は指摘できないだろう。(2015年5月6日)

分類理由

「チェック」という語句が、この虚偽に該当する。なぜならば、大阪市特別区設置協定書を平易な言葉で表したと考えられる「大阪都構想の設計図」が霞ヶ関、総務大臣のチェックを受けたと述べているが、これは法律的な手続き等に不備がなく、大阪都構想実施による住民サービス水準の向上や行政実務の効率化、財政効果などにおいて、賛成派の主張内容を保障したわけではない。

幻法水煙 (fallacy of creating doubts)

【虚偽論入門 須原一秀, 1983】

根拠のない噂をでっち上げ, 人を不信と疑惑の淵に落とし入れる誤り.
虚実によるネガティブキャンペーンを行い不当に論敵の主張を貶める誤り.

例. 3

橋下氏

「これはね、どういうところで、対立が生まれているかということ、大阪市議会議員からすると、大阪府議会や大阪府知事てのは敵なんですよ。」

(2015年2月12日, MBS「VOICE」)

分類理由

大阪市議会議員が大阪府議会議員や大阪府知事を敵対視していると根拠のない発言をしており, デマである疑義が濃厚である. 大阪市議会議員の発言の信憑性を不当に貶めるものであるため幻法水煙である.

分析結果

Twitter 分析結果

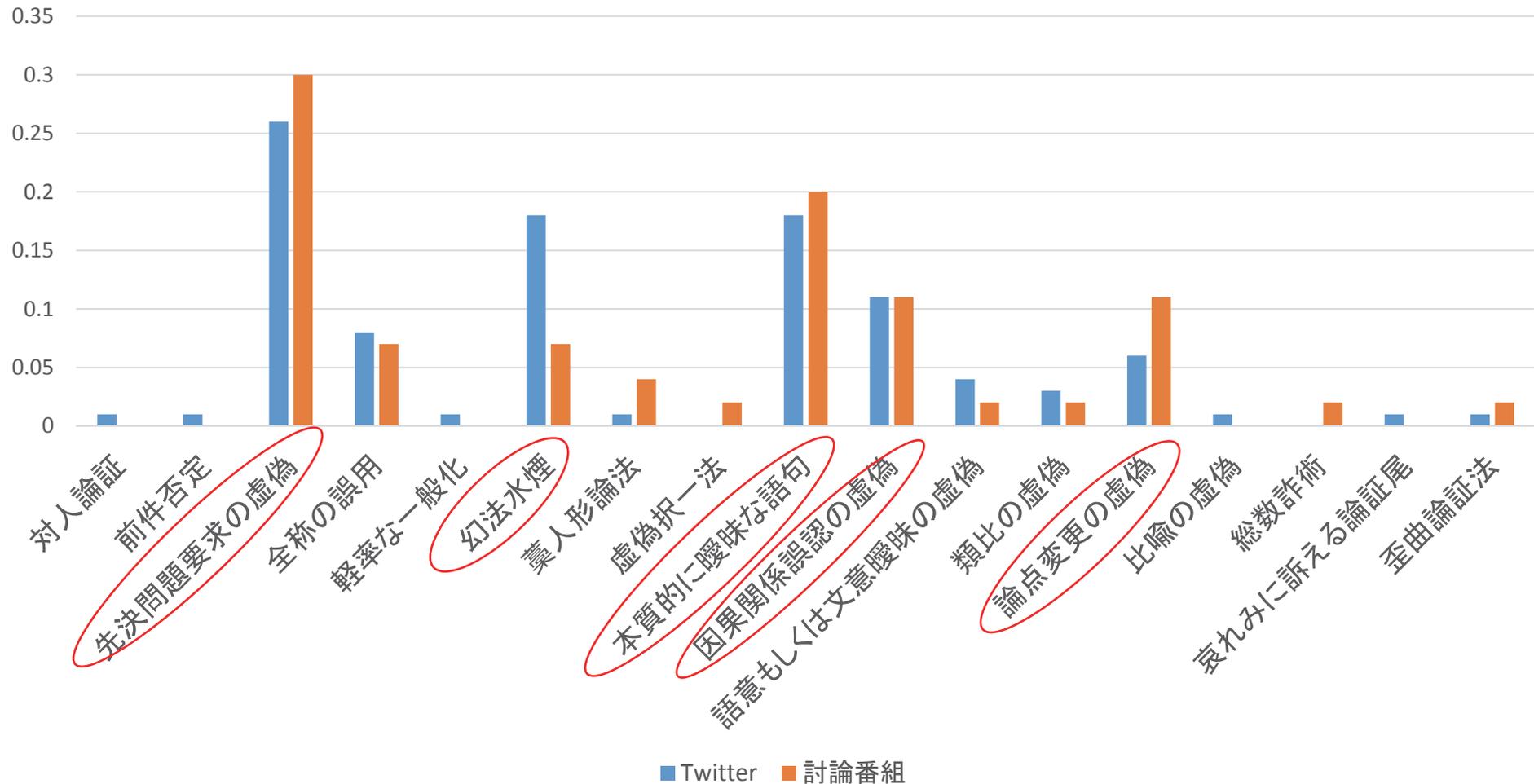
	詭弁文章率 $\frac{\sum S(i,j)}{\sum W(i,j)}$	詭弁濃度 (回/100文字) $\frac{\sum N(i,j)}{\sum W(i,j)} \times 100$
橋下氏	33.9%	0.75回
柳本氏	0.2%	0.01回
山中氏	0.0%	0.00回

討論番組 発話プロトコル分析結果

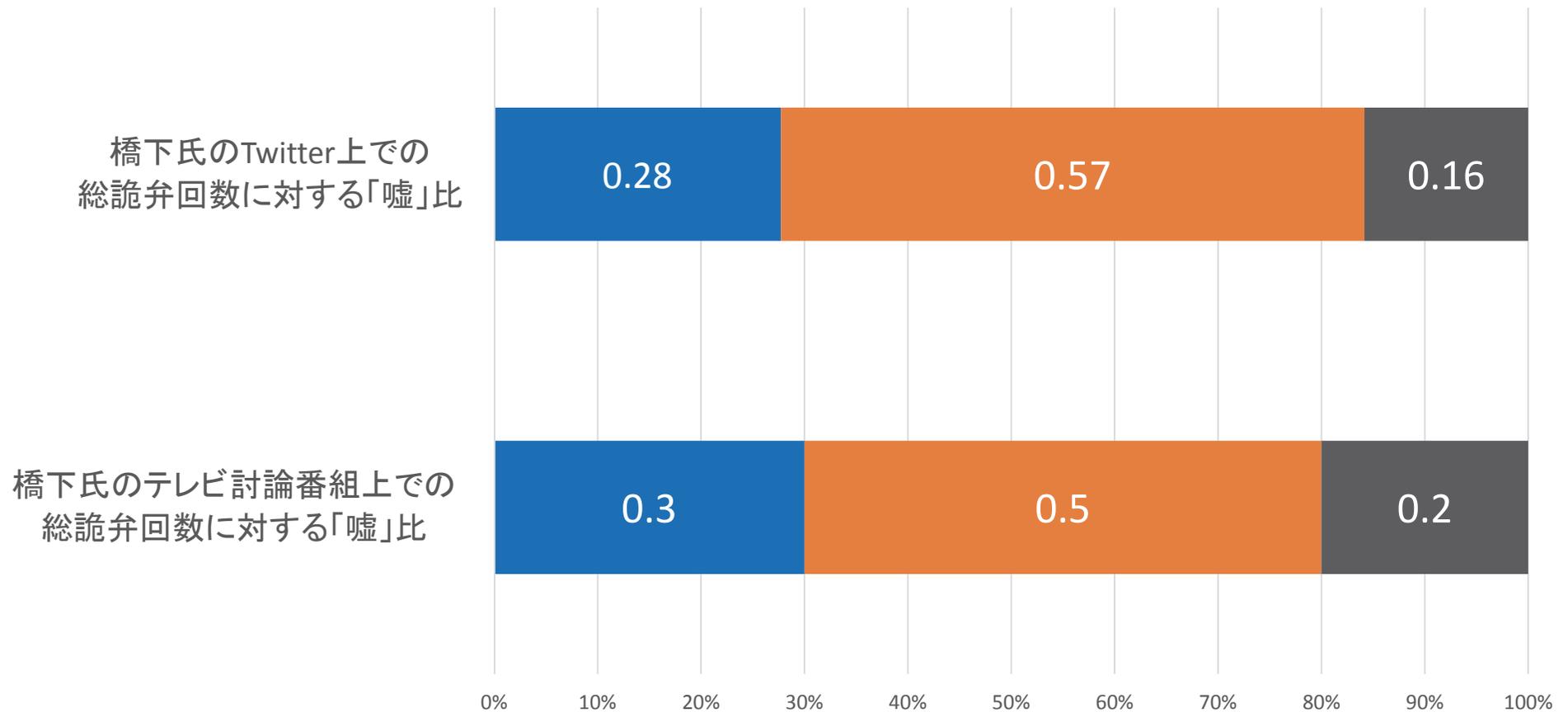
	詭弁文章率 $\frac{\sum S(i,j)}{\sum W(i,j)}$	詭弁濃度 (回/100文字) $\frac{\sum N(i,j)}{\sum W(i,j)} \times 100$
橋下氏	48%	0.64回
柳本氏	2.6%	0.06回

分析結果

橋下氏のTwitter及び討論番組上での総詭弁出現回数に対する各虚偽タイプの比



橋下氏の「詭弁」を構成する「嘘」の割合



■ 事実と論理双方についての嘘 ■ 事実についての嘘 ■ 論理についての嘘

◆ 事実についての嘘

全称の誤用, 軽率な一般化, 幻法水煙, 藁人形論法, 虚偽択一法, 本質的に曖昧な語句, 因果関係五人の虚偽

◆ 論理についての嘘

語彙もしくは文意曖昧の虚偽, 類比の虚偽, 論点変更の虚偽, 比喻の虚偽, 総数詐術, 哀れみに訴える論証, 歪曲論証法

◆ 事実と論理双方についての嘘

対人論証, 先決問題要求の虚偽, 前件否定

総合考察

(以上の前提に基づくプロトコル分析によれば)

都構想推進派の特定政治家(橋下氏)の、
ツイート文章の約1/3、TV討論会発言の約1/2が
「詭弁」(論理的に定義されるウソ)に、論理的に分類された。

一方、都構想反対派は、右派(柳本氏)でも左派(山中氏)でも、
詭弁に分類された発話はほとんど無かった。

⇒こうした「都構想推進派からの大量の詭弁」が、ネット、
新聞、テレビを通して広く喧伝され、都構想についての「真
実」が有権者に周知されることを妨げた。

⇒そしてそれが、今の大阪の政局を作り上げている。

....ということが、実証的に示された！